

L-02F

ISSUE DATE:

14.1

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

目次／注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

インターネットに接続する

各種設定 (Web ブラウザ)

各種設定 (本端末の設定メニュー)

海外利用

モバイル機器を充電する

付録／困ったときには

^{NTT}
docomo

はじめに

「L-02F」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■「かんたんセットアップマニュアル」(本体付属品)

本端末とパソコンなどの接続方法について説明しています。

■「取扱説明書」(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ドコモのホームページでダウンロード

<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

その他オプション品・関連機器について → P130

L-02F本体（保証書付き）



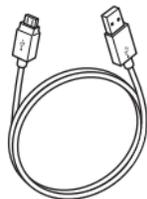
リアカバー L37



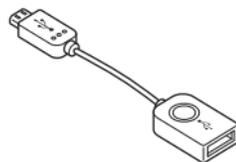
ACアダプタ L05
（保証書付き）



USB接続ケーブル L03



チャージャー用
変換ケーブル L02



クレードル L01（保証書
付き）



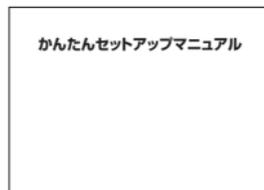
電池パック L22



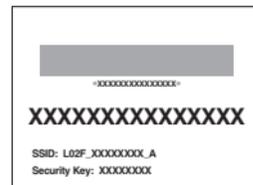
取扱説明書（本書）



かんたんセットアップ
マニュアル



SSID / セキュリティキー
シール



本書の見かた

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-02F」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書では、本端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。
- 本書で記載している画面やイラストはイメージであるため、実際の画面や製品と異なる場合があります。
- 本書の本文中において、「Windowsパソコン」「Mac」の総称を「パソコン」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

目次

本体付属品	1
本書の見かた	2
本端末のご使用について	5
主な機能	6
安全上のご注意（必ずお守りください）	9
取り扱い上のご注意	21
ご使用前の確認	28
各部の名称と機能	28
ドコモ miniUIMカードを使う	30
電池パックの取り付けかた／取り外しかた	33
充電する	36
電源を入れる／切る	39
ディスプレイの見かた	40
基本的な操作	42
文字を入力する	44
セットアップ	45
セットアップについて	45
セットアップの流れ	48
有線接続の場合	49
クレードル LO1 を使って接続する	56
無線接続の場合	58
各種の設定をする	70

インターネットに接続する	71
インターネット接続について	71
インターネットに接続する	71
公衆無線 LAN を利用してインターネット接続する	72
各種設定（Web ブラウザ）	73
設定ページ（L-02F 設定ツール）にログインする	73
端末の接続状態や設定状態を確認する	76
プロバイダを設定する	77
公衆無線 LAN を設定する	79
ネットワークを設定する	81
無線 LAN の詳細設定をする	82
ルーター設定を行う	91
システムを管理する	96
クレードルを設定する	103
各種設定（本端末の設定メニュー）	108
本端末のディスプレイ（設定メニュー）で設定する	108
海外利用	117
国際ローミング（WORLD WING）の概要	117
海外で利用できるサービス	117
ご利用時の確認	118
海外で利用するための設定	120

モバイル機器を充電する	122
-------------	-----

モバイル機器を充電する	122
-------------	-----

付録／困ったときには	124
------------	-----

L-02F 設定ツール メニュー項目設定項目一覧	124
--------------------------	-----

オプション品・関連機器のご紹介	130
-----------------	-----

故障かな？と思ったら	131
------------	-----

こんな表示が出たら	139
-----------	-----

保証とアフターサービス	141
-------------	-----

ソフトウェア更新	143
----------	-----

本端末をリセットする	146
------------	-----

主な仕様	146
------	-----

輸出管理規制	149
--------	-----

Declaration of Conformity	149
---------------------------	-----

Important Safety Information	151
------------------------------	-----

知的財産権	154
-------	-----

SIMロック解除	155
----------	-----

索引	156
----	-----

本端末のご使用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強クアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末の誤動作、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 紛失に備え、PIN1ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。(→P96)
- ご利用の料金などの詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/>をご覧ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はXiデータ通信／FOMAデータ通信に対応しています。送受信したデータ量に応じて課金される通信方式です。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、Xiデータ通信（LTE）またはFOMAデータ通信（3G）に対応した接続先を利用して、受信時最大150Mbps*、送信時最大50Mbps*の速度でデータ通信を行うことができます。
※ Xiエリアの一部に限ります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額な通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなる場合があります。また、特にご利用の多いお客様（当日を含む直近3日間のデータ通信料が約1GB以上）は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなる場合があります。
- 本端末は、お買い上げ時の設定では、電源を入れると自動的にネットワークに接続されます。海外では、ご使用にならないときは電源を切っておくことをおすすめします。
- 本端末は、音声電話やデジタル信号（テレビ電話、64Kデータ通信）、FAX通信には対応していません。
- 本端末は、Remote Wakeupには対応していません。

- ・ インターネットサービスプロバイダのご利用料金についてパソコンなどでインターネットを利用する場合は、ドコモのXi / FOMAサービス契約回線のご利用料金と、別途ドコモの対応プロバイダ「mopera U」などのインターネットサービスプロバイダのご利用料金が必要となります。「mopera U」のお申込み方法、サービスの内容、設定方法については、「mopera U」のホームページ(<http://www.mopera.net>)をご確認ください。なお、他社インターネットサービスプロバイダでもご利用いただけます。その場合、ご利用料金は他社プロバイダへ直接お支払いいただけます。他社プロバイダをご利用の場合、詳しくは各プロバイダにご確認ください。
- ・ ネットワークアクセス時のユーザー認証について
接続先によっては、接続時にユーザー認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合はIDとパスワードを入力して接続してください。
- ・ IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。
- ・ ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

主な機能

本端末は、無線LAN機能によりパソコンやゲーム機などの複数の無線LAN端末と無線LAN接続したり、USB接続ケーブルでパソコンなどと接続したりすることができます。付属のクレードルを使ってパソコンなどと有線で接続することもできます。

さらに、接続した機器から本端末を経由してXiデータ通信やFOMAデータ通信でインターネット接続ができます。

クレードル使用時には、ご自宅のプロードバンドルーターにLANケーブルで接続してインターネット接続ができます。

基本的な使いかた

本端末はXiデータ通信に対応しています。
本端末はWi-Fi対応機器を最大10台まで接続できます。
IEEE802.11a/b/g/n (2.4GHz帯、5GHz帯) /acの無線LAN規格に対応しており、最大通信速度は以下のとおりです。

- IEEE802.11ac接続時／最大867Mbps
 - IEEE802.11n接続時／最大300Mbps
 - IEEE802.11a/g接続時／最大54Mbps
 - IEEE802.11b接続時／最大11Mbps
- インターネット接続では受信時最大150Mbps* /送信時最大50Mbps*になります。
- * Xiエリアの一部に限ります。
- 対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。
 - 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
 - アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
 - 海外でご利用の場合は、利用する海外事業者やネットワークにより通信速度が異なります。



無線LAN

本端末は無線LAN(IEEE 802.11 a/b/g/n(2.4GHz帯、5GHz帯) /ac)に対応したパソコンやゲーム機などを最大10台まで接続できます。

- 本端末は、WPS機能に対応しています。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応している場合には、Wi-Fi接続のセットアップを簡単に行うことができます(→P68「WPS対応のWi-Fi対応機器を接続する」)。
- L-02F設定ツールを利用して、接続可能端末数を制限することができます。(→P84)
- 本端末を公衆無線LANに接続している場合でも、接続可能な端末数は最大10台です。

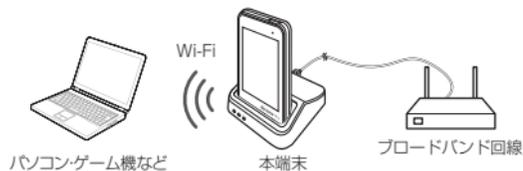
Xiデータ通信／FOMAデータ通信

送受信したデータ量に応じて課金される通信方式です。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、Xiデータ通信（LTE）またはFOMAデータ通信（3G）に対応した接続先を利用して、受信時最大150Mbps*、送信時最大50Mbps*の速度でデータ通信を行うことができます。

* Xiエリアの一部に限ります。

固定ブロードバンド

本端末はクレードルと接続することにより、固定ブロードバンド回線に接続することができます。



公衆無線LAN

本端末は、駅、空港、ファーストフード店などで無線によるインターネット接続が可能な公衆無線LANサービスを利用してデータ通信を行うことができます。

タッチパネルで簡単操作

タッチパネルの簡単操作で、本端末のディスプレイに基本情報を表示したり、本端末の設定*ができます。（→P108）

※ L-02F 設定ツールでできる設定の一部のみ設定可能です。

モバイル機器を充電可能

付属のUSB接続ケーブル L03およびチャージャー用変換ケーブル L02をつないで、本端末からモバイル機器を充電できます。（→P122）

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）	……P10
本端末の取り扱いについて	……P12
電池パックの取り扱いについて	……P14
アダプタ、USB接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルの取り扱いについて	……P16
ドコモminiUIMカードの取り扱いについて	……P18
医用電気機器近くでの取り扱いについて	……P18
材質一覧	……P19

本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

 危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水漏れ禁止

充電端子や外部接続端子、POWER 端子、LAN ポートに液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

本端末に使用するオプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、POWER 端子、LAN ポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - ・ 本端末の電源を切る。
 - ・ 電池パックを本端末から取り外す。
- 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



指示

本端末やクレードルをアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら長時間使用すると、本端末や電池パック、アダプタ、USB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルの温度が高くなる場合があります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて



警告



禁止

本端末内のドコモminiUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について（→P19「材質一覧」）



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、USB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

アダプタのコード（USB 接続ケーブル／チャージャー用変換ケーブル含む）が傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタやUSB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルは、風呂場などの湿気が多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ、USB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルには触れないでください。
感電の原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子やPOWER端子をショートさせないでください。また、充電端子やPOWER端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

アダプタのコード（USB 接続ケーブル／チャージャー用変換ケーブル含む）の上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本端末やクレードルにアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード（USB 接続ケーブル／チャージャー用変換ケーブル含む）や充電端子、クレードル、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

- ACアダプタ：AC100V
- DCアダプタ：DC12V・24V
(マイナスアース車専用)
- 海外で使用可能なACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

USB接続ケーブルやチャージャー用変換ケーブルを抜く場合は、ケーブルを無理に引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

本端末やクレードルにアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモ miniUIM カードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

ドコモ miniUIM カードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

材質一覧

■ L-02F本体・リアカバー L37・電池パック L22

使用箇所		材質／表面処理
フロントカバー		PC／塗装
電源ボタン		PC、ゴム／塗装
タッチパネル		PC
ネジ		Steel(SWCH18A)
銘板シール		NY Film
銘板シールが貼られている金属部分		SUS304
電池パック 接続端子	Battery Contact	Ti-Cu
	モールド	LCP
外部接続端子	Shell	Stainless steel
	端子	Ti-Cu
	モールド	LCP
ドコモ miniUIM カードス ロット	Shell	STS304
	端子	Corson Alloy
	モールド	LCP
miniUIMスロットのガイド		PC

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース(電池面)の側面のシール		IR Ink / COPPER CLAD LAMINATE
外装ケース(電池面)		PC
リアカバー		PC / 塗装
電池パック L22	電池パック本体	PC / 腐食処理
	ラベル	PET / マットコーティング
	端子	Ni + 金 / メッキコーティング

■ ACアダプタ L05

使用箇所		材質／表面処理
ACアダプタ本体		PC / 腐食処理
電源プラグ		Zn合金 / Niメッキ
POWER 端子(DC JACK)	ハウジング	Peroxypolymers(PPE) BLACK
	端子	COPPER ALLOY
ケーブル		PPE
ラベル		LOW WEIGHT SYNTHETIC PAPER / ラミネートコーティング

■ USB接続ケーブル L03

使用箇所	材質／表面処理
USB-A コネクタ部	SPCC-SD / Ni合金
microUSB コネクタ部	ステンレス鋼 / Ni合金
ケーブル	PPE
ラベル	アート紙 / UVコーティング
ケース	PC / UVコーティング

■ チャージャー用変換ケーブル L02

使用箇所	材質／表面処理
USB-A コネクタ部	BRASS / Ni合金
microUSB コネクタ部	ステンレス鋼 / Ni合金
ケーブル	PPE
ラベル	アート紙 / ラミネートコーティング
ケース	LUPOY GN1002FH-KPA1 / UVコーティング

■ クレードル L01

使用箇所		材質／表面処理
本体		PC／腐食処理
外部接続端子	金属部分	ステンレス鋼
	モールド	POLYAMIDE UL94V-0
POWER 端子 (DC JACK)	ハウジング	Polyamide(PA9T) 黒
	端子	銅合金
LANポート	金属部分	ステンレス鋼
	モールド	thermoplastic UL94V-0
WAN/LAN切り替えスイッチ		PC
LEDインジケーター		PC
滑り止めゴム		ゴム
ラベル		Synthetic Paper／ラミネートコーティング

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、電池パック、アダプタ、USB接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードル、ドコモ miniUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気が多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタの破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

- 付属のUSB接続ケーブルで本端末とパソコンを接続している場合、移動するときは、本端末をパソコンから取り外してください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が  の状態をおすすめします。

アダプタ、USB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードル についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ、USB 接続ケーブル、チャージャー用変換ケーブル、クレードルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DC アダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。

ドコモ miniUIM カードについてのお願い

- ドコモ miniUIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどにドコモ miniUIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモ miniUIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモ miniUIM カードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- ドコモ miniUIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - ・ 無線LANについて
 - 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

- ・ 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- | | |
|-------|---|
| 2.4 | : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。 |
| DS | : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。 |
| OF | : 変調方式がOFDM方式であることを示します。 |
| 4 | : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。 |
| ■ ■ ■ | : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。 |

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- 2.4GHz 機器使用上の注意事項

WLAN 搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 5GHz 機器使用上の注意事項

5.2GHz 帯（W52）の屋外使用は法令により禁止されています。

日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

W52

（5.2GHz 帯 / 36、40、44、48ch）

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク ㊦」が本端末の銘板シールに表示されております。

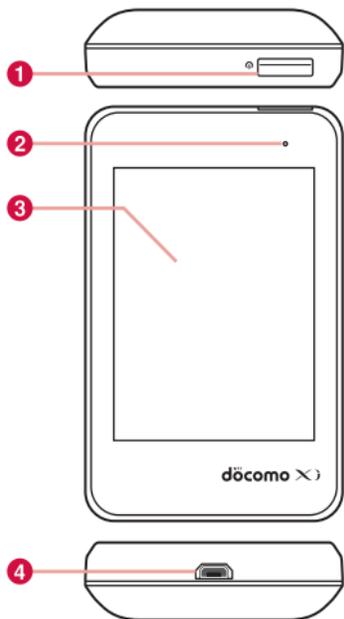
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能



- 1 電源ボタン：**
2秒以上押して電源入/切をします。
短く押すと、ディスプレイの表示/非表示を切り替えます。
- 2 LEDインジケーター：**
赤点灯：本端末を充電中
緑点灯：本端末の充電完了
赤点滅：モバイル機器への充電開始
- 3 ディスプレイ（タッチパネル）**
- 4 外部接続端子：**
付属のUSB接続ケーブル L03やチャージャー用変換ケーブル L02などを取り付けます。



- 5 **FOMA/Xiメインアンテナ：**
アンテナは本体に内蔵されています。
- 6 **FOMA/Xiサブアンテナ：**
複数のアンテナを使うことで通信品質を向上させるためのサブアンテナです。本体に内蔵されています。
- 7 **Wi-Fiサブアンテナ：**
複数のアンテナを使うことでWi-Fiの通信品質を向上させるためのサブアンテナです。本体に内蔵されています。
- 8 **Wi-Fiメインアンテナ：**
アンテナは本体に内蔵されています。
- 9 **リアカバー：**
リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモ miniUIMカードスロットがあります。

お知らせ

- スチール製の机やテーブルなど、本端末を金属の上に置くと、アンテナの性能に影響して通信速度が遅くなることがあります。
- 電子機器の近くで使用すると、電子機器の影響により通信速度が遅くなる場合があります。

ドコモ miniUIMカードを使う

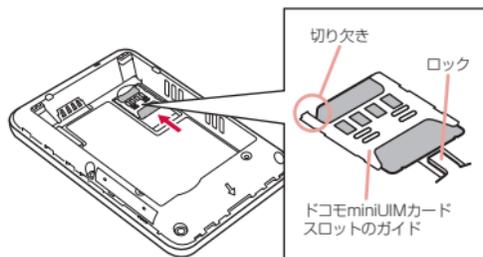
ドコモ miniUIMカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、本端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。ドコモ miniUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモ miniUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

- ドコモ miniUIMカードは、電源を切り、電池バックを外してから取り付け／取り外します（→P33「取り付けかた」／P35「取り外しかた」）。

本端末では、ドコモ miniUIMカードのみご利用できません。ドコモ UIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

取り付けかた

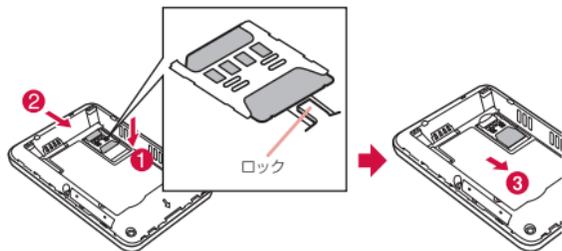
ドコモ miniUIMカードのIC面を下にして、矢印の方向でドコモ miniUIMカードスロットのガイドの下に差し込む



取り外しかた

- 1 指先でロックを押しながら (1)、ドコモ miniUIMカードを (2) の方向に2～3mm押し出す
- 2 ロックから指先を離し、ドコモ miniUIMカードを軽く押さえながら (3) の方向へスライドさせる

このとき、ドコモ miniUIMカードを下方向に強く押し付けしないでください。



お知らせ

- 取り外したドコモ miniUIMカードはなくさないようご注意ください。
- ドコモ miniUIMカードのICに触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- ドコモ miniUIMカードを逆向きに挿入すると、故障の原因となります。
- ドコモ miniUIMカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、ドコモ miniUIMカードが破損する場合があります。

暗証番号

■ PIN1 コード

ドコモminiUIMカードにはPIN1コードという暗証番号があり、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(→P97「暗証番号を変更する」)。PIN1コードは第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、本端末の電源を入れるとき、使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。

お客様のドコモminiUIMカードがPIN1コードを確認する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。

PIN1コードを確認してから利用するか、あらかじめドコモminiUIMカードの設定を、PIN1コードを確認しない設定(→P96)にしてから使用してください。

■ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、ドコモminiUIMカードがロックされます。

本端末の電源を入れたとき、または設定ページ(L-02F 設定ツール)にログインしたときにPIN1コード確認を表示

- 設定ページの「PIN1ロック」を「設定する」に設定した場合(P96)に入力が必要になります。



PIN1コードを入力

3回連続入力失敗



PINロック解除コードを入力
設定ページから入力します。(→P97)

OK

10回連続入力失敗



新しいPIN1コード
を設定可能



ドコモショップ窓口
にお問い合わせください。

ご注意

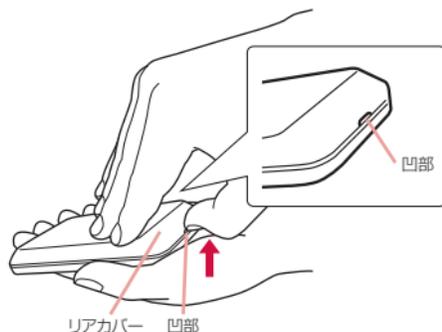
- 設定するPIN1コードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPIN1コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PIN1コードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PIN1コードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PIN1コードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

本端末専用の電池パック L22をご利用ください。

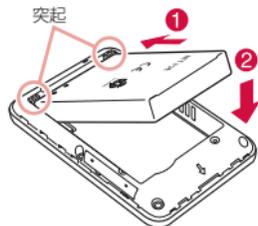
取り付けかた

- 1 リアカバーの凹部に指先をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す



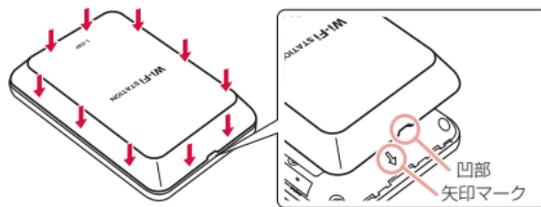
- 2** 電池パックの「」が記載されている面を上にして、電池パックと本端末の金属端子が合うように①の方向に取り付けてから、②の方向へはめ込む

本端末の突起と電池パックのくぼみが合うようにはめ込んでください。



- 3** リアカバーの向きを確認して本体に合わせるように装着し、矢印部分を1つずつしっかりと押して閉じる

凹部と矢印マークが同じ側になるようにします。

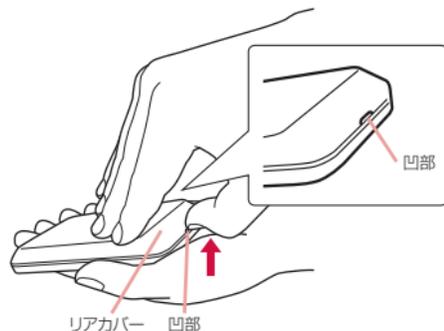


取り外しかた

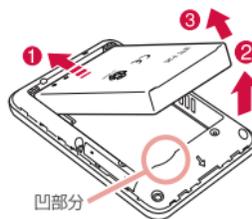
お知らせ

- 電池パックを取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから取り外してください。電源が入った状態で取り外すと、本端末が正常に動作しなくなることがあります。

- 1 リアカバーの凹部に指先をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す

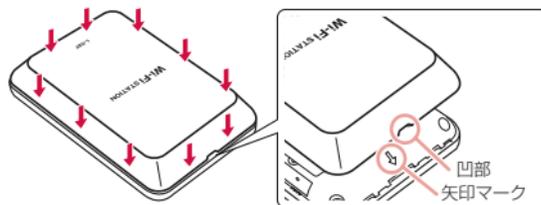


- 2 本端末の凹部分から電池パックに指先をかけて①の方向に押し付けながら、②の方向へ持ち上げ、③の方向に取り外す



- 3 リアカバーの向きを確認して本体に合わせるように装着し、矢印部分を1つずつしっかりと押して閉じる

凹部と矢印マークが同じ側になるようにします。



充電する

■ 充電について

- ACアダプタ L05で充電するには、電池パックを本端末に取り付け、クレードル L01と接続した状態でないと充電できません。(→P37)
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態でも充電を開始すると、しばらくの間本端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中に通信を行ったとき、本端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合は、本端末の電源を切り、本端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。
- 使用状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、いったん電池パックを取り外してから再度取り付けてください。充電を継続させることができます。
- 充電中に電池パックを取り外さないでください。充電中に電池パックを取り外してしまった場合、その後正常に電源を入れたり、充電することができない場合があります。このようなときはいったん本端末から電池パックやケーブル類をすべて取り外し、再度接続し直してください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐにバッテリーが切れることがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、いったん本端末を取り外して、再度接続し直してください。

■ 電池パックの使用時間および充電時間の目安

使用時間および充電時間の目安については、「主な仕様」(P146)を参照してください。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら通信を行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。



Li-ion00

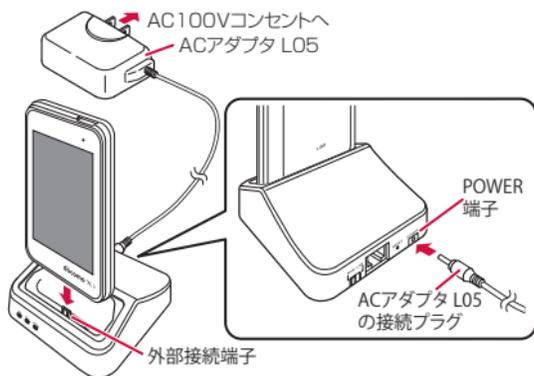
■ ACアダプタについて

- 詳しくは、ご利用になるACアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- ACアダプタは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用している充電は行わないでください。

クレードル L01 と AC アダプタ L05 を使って充電する

本端末を付属のクレードル L01 と AC アダプタ L05 を使って充電する方法を説明します。



- 1 ACアダプタ L05の接続プラグをクレードル L01のPOWER 端子へ水平に差し込む

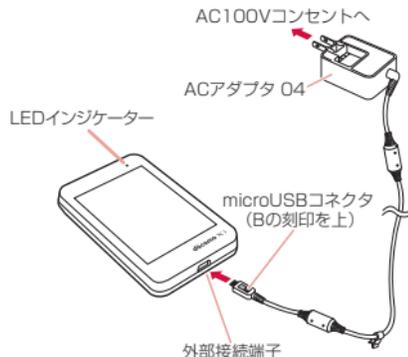
- 2 クレードル L01 に本端末を差し込む
- 3 ACアダプタ L05の電源プラグをコンセントに差し込む
LEDインジケータが赤色に点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、LEDインジケータが緑色に点灯します。
- 4 充電が完了したら、ACアダプタ L05の電源プラグをコンセントから抜く
- 5 クレードル L01 から本端末を抜く
- 6 ACアダプタ L05の接続プラグをクレードル L01のPOWER 端子から水平に抜く

お知らせ

- クレードルL01に本端末を差し込む際は、向きを確かめてクレードルL01の外部接続端子へ差し込んでください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 04（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 ACアダプタ 04のmicroUSBコネクタをBの刻印がある面を上にして、本端末の外部接続端子へ水平に差し込む

2 ACアダプタ 04の電源プラグをコンセントに差し込む

LEDインジケータが赤色に点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、LEDインジケータが緑色に点灯します。

3 充電が完了したら、ACアダプタ 04の電源プラグをコンセントから抜く

4 ACアダプタ 04のmicroUSBコネクタを本端末から水平に抜く

■ DCアダプタ 03（別売）

DCアダプタは、自動車のシガーライターソケット（12V / 24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

詳しくはDCアダプタ 03の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

本端末を付属のUSB接続ケーブル L03を使ってパソコンと接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

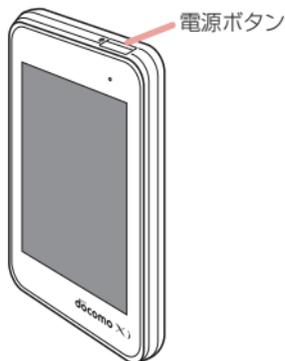
- パソコンとの接続のしかたは、「パソコンへの取り付けかた／取り外しかた」（→P49）を参照してください。
- パソコンの状態により、充電に時間がかかる場合や充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れている状態で、電源ボタンを2秒以上押す

初回起動時は「スタートアップウィザード」が表示されます。



2 画面に従って操作を行う

画面に従って操作することで本端末のご利用に必要な下記の設定を行います。

- 言語
- プロバイダ
- SSID
- 公衆無線LAN
- ショートカット

お知らせ

- 電源を入れると、XiエリアやFOMAエリアなどのネットワークの検索が開始されます。ネットワークに接続されると、ディスプレイに接続ネットワーク名が表示されます。また、電源を入れると、Wi-Fi対応機器との接続が可能な状態になります。
- 「スタートアップウィザード」設定後の端末起動時はロック画面が表示されます。(→P43)

■ PIN1コードを設定しているときは PIN1コードを入力してください。

1 PIN1コードを入力し、「OK」をタップ

- バックライトが消灯したときは、電源ボタンを押してください。

お知らせ

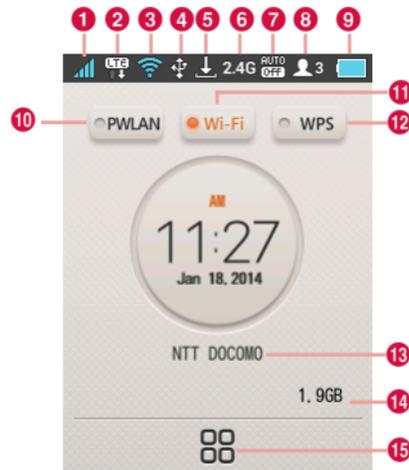
- PIN1コードの入力に3回失敗したときは、L-02F 設定ツールでPINロック解除コードを入力してください。(→P97)

電源を切る

- 1 電源が入っている状態で、電源ボタンを2秒以上押す
- 2 「はい」をタップ

ディスプレイの見かた

ディスプレイの画面に表示されるアイコンの意味は次のとおりです（表示が消えているときは電源ボタンを押します（→P43））。



ホーム画面

1 信号レベル

強



圏外



：圏外／モバイルネットワーク切断

：ローミング



2 接続中のネットワークの種類

-  : LTE 接続中
 -  : 3G 接続中 (HSDPA/HSUPA、W-CDMA)
 -  : GSM 接続中
 -  : 公衆無線 LAN 接続中
 -  : 有線 LAN
- ・ 通信中は「↑」(アップロード時)「↓」(ダウンロード時)が白く表示されます。

3 無線 LAN 受信レベル



: 公衆無線 LAN ON

4 / : USB デザリング中 / 給電中

 : クレードル接続中

5 : 新規ソフトウェアあり

6 / : Wi-Fi 周波数帯 2.4GHz / Wi-Fi 周波数帯 5GHz

7 : Wi-Fi 自動オフタイマー ON (→P101)

8 : 接続済み Wi-Fi 機器台数

9 電池残量表示



 : 充電中

 点滅 : 電池残量がほとんどありません。充電してください。

10 PWLAN ロングタッチすると、公衆無線 LAN のオン / オフを切り替えられます。Wi-Fi がオフのときはオンにできません。

11 Wi-Fi ロングタッチすると、無線 LAN のオン / オフを切り替えられます。

12 WPS WPS を使用して Wi-Fi 設定を行います。実行するにはロングタッチします。Wi-Fi がオフのときはオンにできません。

13 ネットワーク 現在接続しているネットワーク名を表示します。

14 データ通信量表示 (→P110)

15 メニュー タップするとメニュー画面を表示します。

■ 状態表示の例

電池パックの充電状態や Wi-Fi 機能の状態、接続ネットワーク名などの情報が表示されます (以下は画面の一例です)。



充電中
(電源が切れている状態のみ)



WPS 機能の
実行中



電池残量がない



Wi-Fi機能
起動中



Wi-Fi機能
切断中



圏外



モバイル機器
充電中

お知らせ

- L-02Fでは、一般的なスマートフォンとは異なり、ネットワークから現在の時刻情報を受けた場合のみ、現在の時刻表示が可能です。したがって、以下の場合には、現在の正確な時刻が表示されません。
 - 本端末起動直後、圏外の状態からネットワークに接続されるまで
 - 海外などでネットワークに接続した場合

基本的な操作

タッチパネルの使いかた

本端末は、ディスプレイにタッチパネルを採用しており、タッチパネルに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチパネル利用上の注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った場合

タッチパネルの操作

タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ロングタッチ：画面に1秒以上触れる
- スクロール：画面にタッチしたまま指を上下に移動します。

画面ロックの解除

バックライトが消灯した状態で電源ボタンを押したときや、端末起動後にロック画面が表示される場合があります。

Ⓢ を長押しすることでロックを解除できます。画面のロック設定については「表示設定」(→P110)を参照してください。

本端末のメニュー操作

本端末のタッチパネルを操作して、各種設定を行うことができます。より詳細な設定はパソコンでL-02F 設定ツールを使って行います。詳細については「各種設定」(→P73)を参照してください。



「Ⓢ」をタップ

各メニューをタップすると設定画面が表示されます。「←」をタップすると上の階層の画面に戻ります。「↑」をタップするとホーム画面に戻ります。

文字を入力する

本端末はタッチパネルを操作して、パスワードなどを入力することができます。



- 1 テキストボックス
- 2 キャンセルキー
- 3 キーボードエリア
1つのキーに複数の文字が割り当てられています。同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。
- 4 シフトキー
大文字／小文字を切り替えます。
- 5 OKキー
- 6 削除キー
カーソルの左側の文字を消去します。
- 7 スペースキー
スペースを入力します。

- 8 入力切替キー
数字／英字の入力を切り替えます。
- 9 入力切替キー
数字／記号の入力を切り替えます。

1 キーボードエリアをタップして文字を入力する

テキストボックスに選択した文字が入力されます。

- 英字／数字／記号などの文字種を選択し、入力する文字をタップします。
- 同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力後、少し（1～2秒間）時間をおいてから次の文字を入力します。

例：「bc」と入力する場合

- 1 「abc」のキーを2回タップ
- 2 1～2秒後、「abc」のキーを3回タップ

2 入力が終わったら「OK」をタップ

お知らせ

- 本端末で入力できるのは、英数字および一部の記号（!@#\$%^&*()-_+=||\|:;'"<>?./,'）のみとなります。

セットアップ

セットアップについて

本端末をお使いになる前に、お使いのWi-Fi対応機器を本端末にWi-Fi接続するための設定を行います。また、無線LANや各種機能の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

対応機器を確認する

本端末は以下のOS・機器に対応しています。(2014年1月現在)

OS・機器	本端末の設定変更
Windows 8.1 ^{*1} 32bit/64bit	○
Windows 8 ^{*1} 32bit/64bit	○
Windows 7 SP1 32bit/64bit	○
Windows Vista SP2 32bit/64bit	○
Windows XP SP3 32bit	○
Mac OS X 10.9.1 64bit	○
Mac OS X 10.8.5 64bit	○

OS・機器	本端末の設定変更
Mac OS X 10.7.5 32bit/64bit	○
Mac OS X 10.6.8 32bit/64bit	○
iPad ^{*2}	○
iPod touch ^{*2} / iPhone ^{*2}	○
ニンテンドー 3DS	×
ニンテンドー DS	×
PSP [®] 「プレイステーション・ポータブル」	×
PS Vita	×
Android端末 ^{*2}	○

※1 Windows RTは含みません。

※2 L-02F設定ツールの「システム設定」→「バックアップと復元」、および、「クレードル」→「バックアップと復元」の機能はご使用になれません。

USB 接続ケーブルを使用する

本端末ではパソコンと付属のUSB接続ケーブル L03で接続し、USBテザリングを行うことができます。対応しているOSは下記のようになります。(2014年1月現在)

OS
Windows 8.1 32bit/64bit
Windows 8 32bit/64bit
Windows 7 SP1 32bit/64bit
Mac OS X 10.9.1 64bit
Mac OS X 10.8.5 64bit
Mac OS X 10.7.5 32bit/64bit

USB接続ケーブルで充電しながらでも、データ通信を行うことが可能です。

Wi-Fi対応機器を使用する

- IEEE802.11 a/b/g/n (2.4GHz/5GHz) /acに対応しているWi-Fi対応機器であれば、本端末と接続し使用することが可能です。
- 動作条件が合っている場合であっても、お客様の環境において正常動作を保証するものではありません。使用する周辺機器、アプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては正常に動作しない場合があります。
- Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問合せください。
- 対応しているOS・機器は下記のようになります。(2014年1月現在)

OS・機器
Windows 8.1 32bit/64bit
Windows 8 32bit/64bit
Windows 7 SP1 32bit/64bit
Windows Vista SP2 32bit/64bit
Windows XP SP3 32bit
Mac OS X 10.9.1 64bit
Mac OS X 10.8.5 64bit
Mac OS X 10.7.5 32bit/64bit
Mac OS X 10.6.8 32bit/64bit

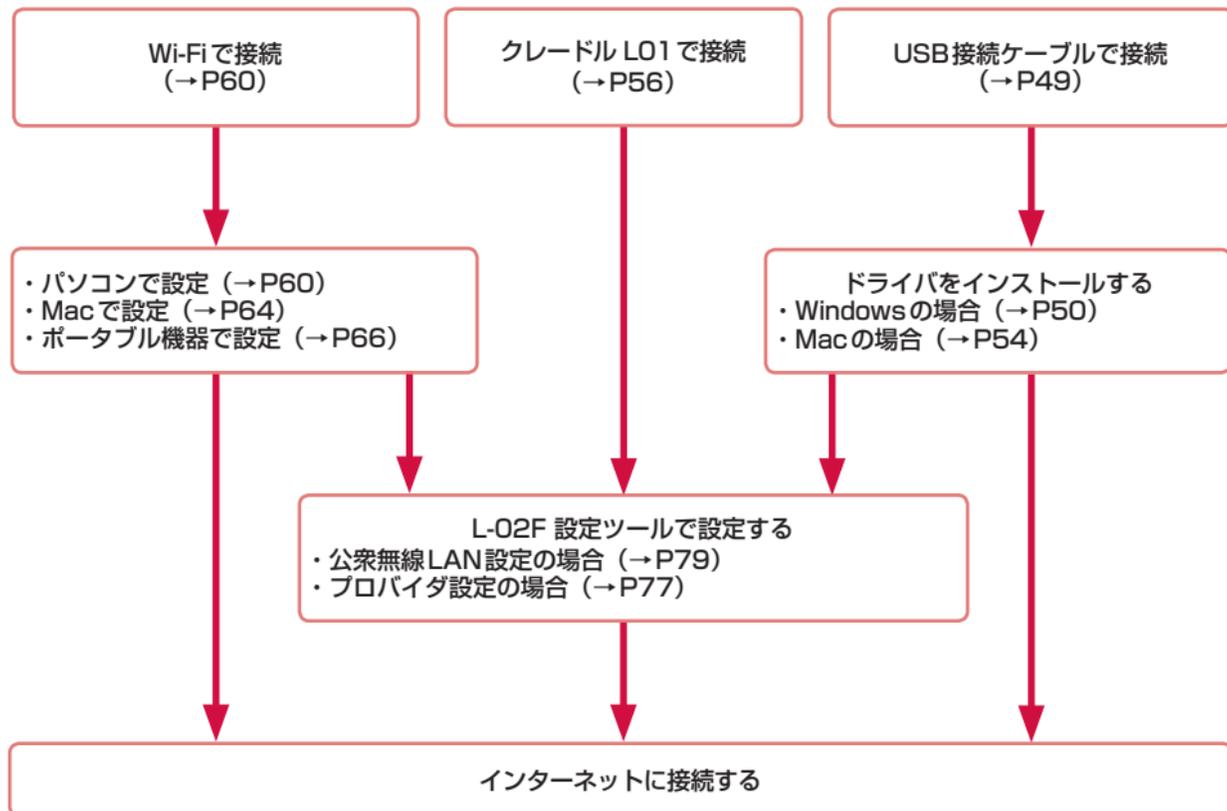
OS・機器
iPad
iPod touch / iPhone
ニンテンドー 3DS
ニンテンドー DS
PSP® 「プレイステーション・ポータブル」
PS Vita
Android 端末

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

お知らせ

- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セットアップの流れ



お知らせ

- 本端末の設定を変更する場合は、最初にパソコンを接続し、設定を変更してからその他のWi-Fi対応機器を接続してください。
- ※ なお、ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。

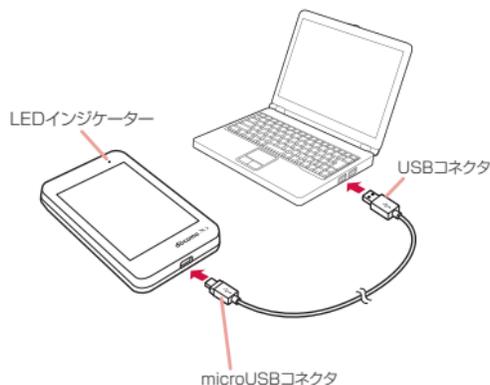
有線接続の場合

パソコンへの取り付けかた／取り外しかた

付属のUSB接続ケーブル L03を使ってパソコンに取り付けます。

- USBデザリングが有効（ON）になっている場合、パソコンに接続すると自動的にインターネットに接続されます。パケット通信（課金対象）が発生しますので、ご注意ください。
- データ通信中にUSBケーブルをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。

取り付けかた



- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 USB接続ケーブル L03のmicroUSBコネクタをUSBマークのある面を上にして本端末の外部接続端子へ水平に差し込む
- 3 USB接続ケーブル L03のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む
 - お買い上げ時初めて接続するときは、Windows版のみゼロインストール機能により、L-02Fドライバのセットアップ画面が自動で表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。(→P50)
 - LEDインジケータが赤色に点灯し、充電が開始されます。

取り外しかた

- 1 USB接続ケーブル L03をパソコンと本端末から抜く

ドライバをインストールする (Windowsパソコンの場合)

お買い上げ時初めて接続するときは、Windows版のみゼロインストール機能により、L-02Fドライバのセットアップ画面が自動で表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

- インストール完了後、デスクトップ画面上に、L-02F 設定ツールのショートカットが生成されます。

お知らせ

- ドライバのインストール中にキャンセルをしたり、本端末を取り外したりしないでください。

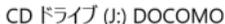
画面表示はWindows 8.1 を例としています。

1 右上の「CD ドライブ (X:) DOCOMO」(Xの部分はパソコンによって異なります) をクリック



CD ドライブ (X:) DOCOMO
タップして、このディスク に対して行う操作を選んでください。

2 「docomo_L02F_ModemDriver_Ver_X.X.X_WHQL_All.exeの実行」をクリックする



CD ドライブ (J:) DOCOMO

このディスク に対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行

 docomo_L02F_ModemDriver_Ver_1.1.0_...
LG Electronics Inc. により発行

その他の選択肢

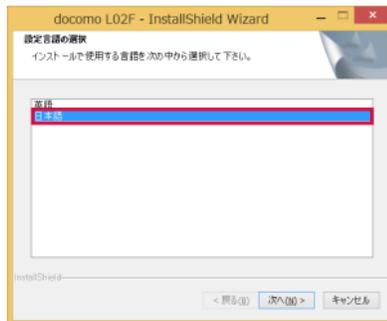
 フォルダを開いてファイルを表示
エクスプローラー

 何もしない

- ・ ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」をクリックします。
- ・ Windows 7の場合は、手順2から行ってください。

- ・ インストーラーが自動起動しなかったときは
本製品を接続してもインストーラーが自動起動しない場合は、下記の手順をお試しください。
 - ・ Windows 8.1の場合は、デスクトップ画面で、▶「PC」▶「CD ドライブ (X:) DOCOMO」(Xの部分はパソコンによって異なります) を順にクリックします。
 - ・ Windows 8の場合は、デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ (マウスの場合は画面右上をポイント) ▶チャームで「検索」▶「アプリ」▶「コンピューター」▶「CD ドライブ (X:) DOCOMO」(Xの部分はパソコンによって異なります) を順にクリックします。
 - ・ Windows 7の場合は、 (スタート) ▶「コンピューター」を順にクリックします。

3 「日本語」を選択し、「次へ」をクリックする



4 「使用許諾契約の全条項に同意します (A)」を選択し、「次へ」をクリックする

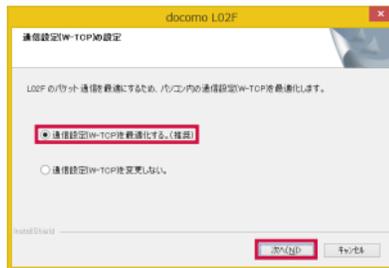


5 「docomo LO2Fの InstallShield Wizardへようこそ」と表示されたら、「次へ」をクリックする

インストールが始まります。



6 「通信設定(W-TCP)を最適化する。(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックする



7 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」をクリックする



自動的にパソコンが再起動されます。

インストールしたL-02Fドライバを確認する

L-02Fドライバがパソコンに設定されているかを確認します。あらかじめ、L-02Fとパソコンを付属のUSB接続ケーブルで接続しておいてください。画面表示はWindows 8.1を例としています。

1 デスクトップ画面で「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」を順にクリックする

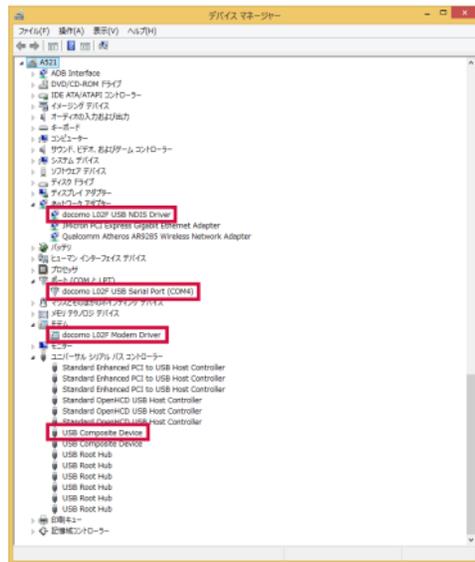
- Windows 8の場合は、デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント）▶チャームで「検索」▶「アプリ」▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックします。
- Windows 7の場合は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「システムとセキュリティ」を順にクリックします。

2 「デバイス マネージャー」をクリックする

3 各デバイス表示をクリックし、インストールされたドライバ名を確認する

- ネットワークアダプター：docomo L02F USB NDIS Driver
- ポート（COMとLPT）：docomo L02F USB Serial Port (COMX)
- モデム：docomo L02F Modem Driver

- ユニバーサル シリアル バス コントローラー：USB Composite Device



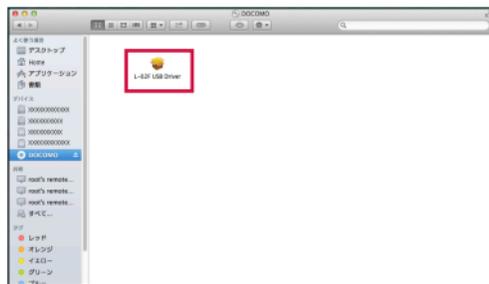
お知らせ

- 本端末をパソコンのUSBポートに取り付けた後、本端末が認識されない場合は、他のUSBポートに取り付けてご確認ください。パソコンによっては特定のUSBポートでは本端末が認識されない場合があります。

ドライバをインストールする（Macの場合）

画面表示は Mac OS X 10.9.1 を例としています。

- 1 **Finder (Finder) → 「デバイス」 → 「DOCOMO」 → 「L-02F USB Driver」 をクリックする**



- ・「ソフトウェアの提供元の信頼性」に関する画面が表示された場合は、「続ける」をクリックします。

2 「続ける」をクリックする



- ・「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。

3 「続ける」をクリックする



- ・「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択し、「続ける」をクリックします。

4 「Macintosh HD」に標準インストール」の画面が表示されるので、「インストール」をクリックする

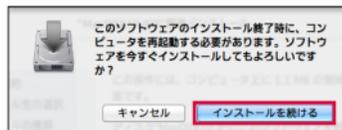
認証画面が表示されます。



5 お使いの Mac の名前（ユーザー名）とパスワードを入力して、「ソフトウェアをインストール」をクリックする



6 「インストールを続ける」をクリックする インストールが始まります。



7 インストール完了の画面で「再起動」をクリックする



クレードル L01 を使って接続する

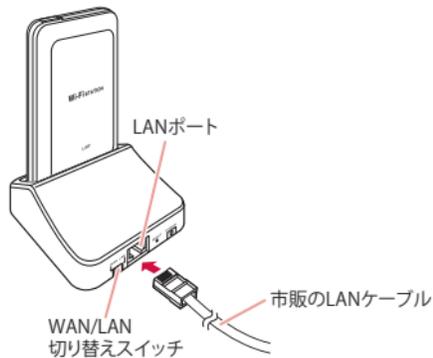
付属のクレードル L01 を使って固定ブロードバンド回線や、LTE/3G回線を使用してネットワークに接続することができます。

- 本端末とクレードル L01 が接続されており、WAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されている場合は「公衆無線 LAN」をご利用いただけません。
- LANケーブルはストレートタイプのものをご使用ください。

■ LANモードで使用する場合

LANモードでは、パソコンと市販のLANケーブルで接続して、LTE/3G回線を使用してネットワークに接続することができます。

- 1 WAN/LAN切り替えスイッチをLANに切り替える**
- 2 本端末をクレードル L01 にセットする**
 - 「クレードルを使って充電する」(→P37) を参照してください。
- 3 LANケーブルをクレードル L01 のLANポートへ水平に差し込む**
 - LANケーブルのツメを下に向けて、接続してください。



■ WANモードで使用する場合

WANモードでは、LANケーブルを使用してブロードバンドルーターなどと接続し、本端末とWi-Fi接続している機器からインターネットに接続することができます。

- 1 WAN/LAN切り替えスイッチをWANに切り替える**
- 2 本端末をクレードル L01 にセットする**
 - 「クレードルを使って充電する」(→P37) を参照してください。
- 3 LANケーブルをクレードル L01 のLANポートへ水平に差し込む**
 - LANケーブルのツメを下に向けて、接続してください。

■ クレードル L01 を初期化する

クレードル L01 をお買い上げ時の状態に戻すことができます。初期化は携帯端末が外れている状態で行います。

1 クレードル L01 に AC アダプタ L05 を接続した状態で RESET ボタンを 5 秒以上押し続ける

2 クレードル L01 の POWER の LED が点滅（約 3 秒間点滅）したら、RESET ボタンを離す

- ・ クレードル L01 の POWER の LED が点灯し、初期化が開始されます。
- ・ 約 40 秒で初期化が完了します。

3 クレードル L01 に携帯端末を差し込む

- ・ 携帯端末で  アイコンが表示されたら、初期化は正常に完了しています。

お知らせ

- ・ クレードル L01 を再起動する場合は、クレードル L01 から AC アダプタ L05 の接続プラグを抜き、約 5 秒以上経過してから再接続してください。

■ LED インジケータの表示について

LED インジケータの種類	LED インジケータの色 (つきかた)	状態
LAN	緑 (点灯)	LAN モード、Ethernet リンク ON
	緑 (点滅)	LAN モード実行中
	消灯	LAN モード、Ethernet リンク OFF
WAN	緑 (点灯)	WAN モード、Ethernet リンク ON
	緑 (点滅)	WAN モード実行中
	消灯	WAN モード、Ethernet リンク OFF
POWER	緑 (点灯)	クレードル電源 ON
	緑 (点滅)	AC アダプタからの電力供給不足
	消灯	クレードル電源 OFF

無線接続の場合

お使いのWi-Fi対応機器によって設定手順が異なります。ここでは、以下の各端末の設定手順を説明します。

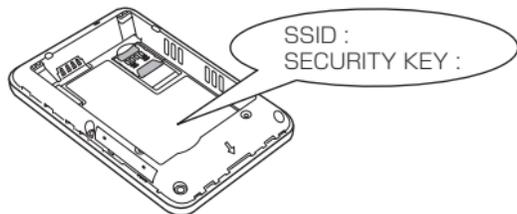
- Windowsパソコン（Windows 8.1の場合）（→P60）
- Windowsパソコン（Windows 7およびWindows Vistaの場合）（→P61）
- Windowsパソコン（Windows XPの場合）（→P63）
- Mac（→P64）
- iPad（→P66）
- Android（→P66）
- ニンテンドー DS（→P67）
- PSP（→P67）
- WPS対応のWi-Fi対応機器（→P68）

お知らせ

- これらの設定は、各端末を初めて接続するときに行ってください。一度設定すると、電源を入れるだけで自動的に接続されるようになります。
- WPS機能を使用しないで接続する場合には、本端末に設定されたSSIDおよびセキュリティキーを入力する必要があります。（→P59）あらかじめご確認の上、設定を行ってください。
- 本端末は、同時に最大10台までのWi-Fi対応機器を接続できます。
- WindowsパソコンとMacの場合は、あらかじめ管理者権限のあるユーザーアカウントでログインしておく必要があります。

■ SSID / セキュリティキーを確認する

同梱されている「SSID / セキュリティキーシール」にSSIDおよびセキュリティキーが記載されていますのでご確認ください。また、電池パックを外すと、本体内部のシールにSSIDおよびセキュリティキーが記載されています（→P33「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」）。



本端末の設定メニューでも確認できます。（→P115）

■ SSID / セキュリティキーについて

本端末では2つのSSIDを利用できます。お買い上げ時のSSIDは、同梱されている「SSID / セキュリティキーシール」および本体内部のシールを以下のように読み替えてください。

プライマリSSID：

シールに記載されている「SSID：」を使用します。WPA以上の無線LANセキュリティモードで利用でき、セキュリティキーは「SECURITY KEY：」を使用します。

セカンダリSSID：

シールに記載されている「SSID：」の末尾「_A」を「_B」と読み替えてください。セカンダリSSIDの設定については「セカンダリSSIDを設定する」（→P86）を参照してください。

Windowsパソコンを接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」に設定されている場合の設定手順を例に説明しています。

- 初期状態で使用される暗号化方式は、WPA-PSKで接続する場合はTKIP/AES、WPA2-PSKで接続する場合はTKIP/AESとなります。

Windows 8.1 の場合

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押し
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。

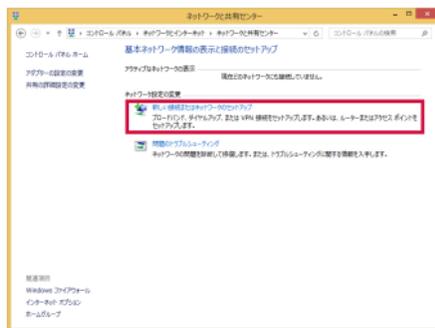
- 2 パソコンのWi-Fi機能をオンにする

- 3 デスクトップ画面で、▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする

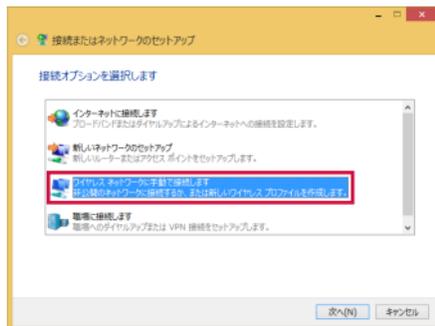
- Windows 8の場合は、デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ（マウスの場合は画面右上をポイント）▶チャームで「検索」▶「アプリ」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックします。

「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

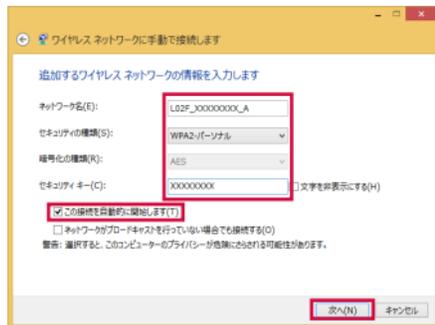
- 4 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする



- 5 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」▶「次へ」を順にクリックする



- 6 「ネットワーク名 (E)」に、本端末に設定したSSID (初期設定:「L02F_XXXXXXXX_A」→P59) を入力する



- 7 「セキュリティの種類 (S)」で「WPA2-パーソナル」を選択する

- Windows 8の場合は、「WPA-パーソナル」も選択できますが、「WPA2-パーソナル」の方がセキュリティ強度が高くなります。
- Windows 8の場合は、「暗号化の種類 (R)」で「TKIP」または「AES」を選択します。「AES」の方がセキュリティ強度が高くなります。

- 8 「セキュリティキー (C)」に、本端末に設定されているセキュリティキー (→P59) を入力する

- 9 「この接続を自動的に開始します (T)」にチェックを入れて「次へ」をクリックする
- 10 「正常にL02F_XXXXXXXX_Aを追加しました」と表示されたら、「閉じる」をクリックする

Windows 7およびWindows Vistaの場合

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 パソコンのWi-Fi機能をオンにする
- 3  (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークと共有センター」を順にクリックする
「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

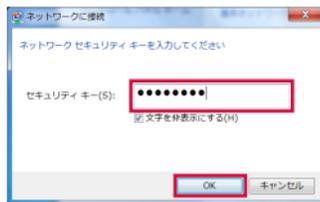
4 「ネットワークに接続」をクリックする



5 本端末に設定したSSID (初期設定:「L02F_XXXXXXX_A」→P59)が表示されている項目をクリックし、「接続」をクリックする



6 「セキュリティ キー (S)」に、本端末に設定されているセキュリティキー (→P59) を入力し、「OK」をクリックする



Windows Vistaの場合は「セキュリティ キーまたはパスフレーズ (S)」に本端末に設定されているセキュリティキーを入力し、「接続」をクリックします。

7 「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れて、「閉じる」をクリックする Windows 7の場合、この手順は不要です。

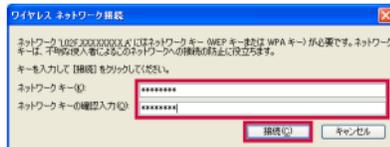
Windows XPの場合

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 パソコンのWi-Fi機能をオンにする
- 3 スタート▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット接続」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする
- 4 「ワイヤレス ネットワーク接続」をダブルクリックする
「ワイヤレス ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

- 5 本端末に設定したSSID（初期設定：「L02F_XXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目をクリックし、「接続」をクリックする



- 6 「ネットワーク キー」および「ネットワーク キーの確認入力」に、本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、「接続」をクリックする



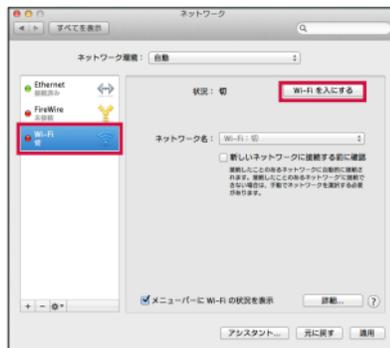
Macを接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」（暗号化方式はAESおよびTKIPに対応します）に設定されている場合に、Mac OS X 10.9.1 で設定する手順を例に説明しています。

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 アップルメニューの「システム環境設定...」
▶ 「ネットワーク」をクリックする

3 「Wi-Fi」を選択し、「Wi-Fiを入にする」をクリックする

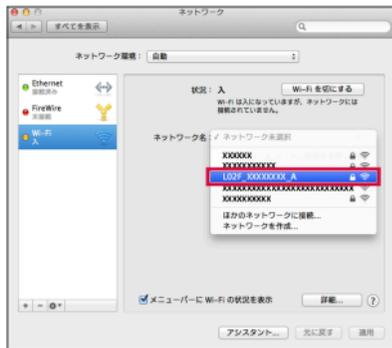
MacのWi-Fi機能がオンになります。



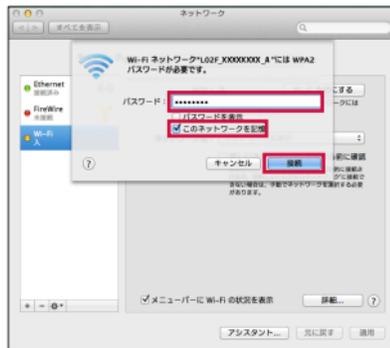
お知らせ

- 「すべての優先するネットワークを利用できません」というメッセージが表示された場合は、「キャンセル」をクリックし、「新しいネットワークに接続することを確認」をクリックして選択を解除してください。

- 4 「ネットワーク名」をクリックし、本端末に設定したSSID（初期設定：「L02F_XXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目を選択する



- 5 「パスワード」に、本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、「このネットワークを記憶」を選択し、「接続」をクリックする



iPadを接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」（暗号化方式はAESおよびTKIPに対応します）に設定されている場合に、iPadで設定する手順を例に説明しています。

- 1** 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2** iPadのホーム画面で「設定」をタップする
- 3** 「Wi-Fi」をタップし、Wi-Fiを「ON」にする
- 4** 本端末に設定したSSID（初期設定:「L02F_XXXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目をタップする
- 5** 本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、「Join（接続）」をタップする

Androidを接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」（暗号化方式はAESおよびTKIPに対応します）に設定されている場合に、Androidで設定する手順を例に説明しています。

- 1** 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2** Androidのホーム画面で「メニュー」→「本体設定」をタップする
- 3** 「Wi-Fi」→「Wi-Fiスイッチ」をタップしてWi-Fiを「ON」にする
- 4** 本端末に設定したSSID（初期設定:「L02F_XXXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目をタップする
- 5** 本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、「接続」をタップする

ニンテンドー DS を接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」（暗号化方式はAESおよびTKIPに対応します）に設定されている場合に、ニンテンドー DSiで設定する手順を例に説明しています。

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 ニンテンドー DSiのDSiメニューで「本体設定」をタッチする
- 3 「インターネット」▶「接続設定」をタッチする
- 4 「上級者設定」▶「未設定」と表示されている接続先を1つタッチする
- 5 「アクセスポイントを検索」をタッチする
- 6 本端末に設定したSSID（初期設定：「LO2F_XXXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目をタッチする
- 7 本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、「OK」をタッチする

8 「OK」をタッチする

設定が保存されます。

9 「はい」をタッチする

接続テストが開始されます。

PSP を接続する

本端末のセキュリティモードが初期値である「WPA/WPA2-PSK mixed」（暗号化方式はAESおよびTKIPに対応します）に設定されている場合に、PSP-3000で設定する手順を例に説明しています。

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 PSPのワイヤレスLANスイッチをオンにする
- 3 ホームメニュー画面から、「設定」▶「ネットワーク設定」を選択し、「○」ボタンを押す
- 4 「インフラストラクチャーモード」を選択し、「○」ボタンを押す
- 5 「新しい接続の作成」を選択し、「○」ボタンを押す

- 6 「検索する」を選択し、方向キーの「△」ボタンを押す
- 7 本端末に設定したSSID（初期設定:「LO2F_XXXXXXXX_A」→P59）が表示されている項目を選択し、「○」ボタンを押す
- 8 表示されたSSIDを確認し、方向キーの「▷」ボタンを押す
- 9 「WPA-PSK (TKIP)」または「WPA-PSK (AES)」を選択し、方向キーの「▷」ボタンを押す
 - ・「WPA-PSK (AES)」の方がセキュリティ強度が高くなります。
- 10 「○」ボタンを押す
- 11 本端末に設定されているセキュリティキー（→P59）を入力し、方向キーの「▷」ボタンを押す
- 12 「かんたん」を選択し、方向キーの「▷」ボタンを押す
- 13 表示された接続名を確認し、方向キーの「▷」ボタンを押す

- 14 表示された設定一覧を確認し、方向キーの「▷」ボタンを押す
- 15 「○」ボタンを押す
設定が保存されます。
- 16 「○」ボタンを押す
接続テストが開始されます。

WPS対応のWi-Fi対応機器を接続する

お知らせ

- ・Wi-Fi対応機器によって設定方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をあわせて参照し、操作してください。
- ・お使いのWi-Fi対応機器にWPS機能のPINコードが指定されている場合には、あらかじめ本端末の「WPS方式」で「WPS PIN」を選択し、「WPS PIN」に指定されたPINコードを設定しておく必要があります。（→P88）
- ・「無線LANセキュリティ」（→P84）に以下を設定しているときはWPS機能を利用できません。
 - WEP
 - WPA-PSK
 - WPA2-PSK (TKIP)
 - WPA/WPA2-PSK mixed (TKIP)
- ・「SSIDステルス」を「使用する」に設定しているときは、WPS機能を利用できません。

■「WPS方式」が「プッシュボタン」の場合の例

- 1** 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2** 接続するWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにし、必要に応じてWPS機能の設定をする
お使いのWi-Fi対応機器によって操作が異なります。
- 3** 接続するWi-Fi対応機器でWPS機能の接続操作を行う
お使いのWi-Fi対応機器によって操作が異なります。
- 4** 本端末のWPSをロングタッチしてからはなす



- 5** 接続するWi-Fi対応機器で画面表示に従って設定する
お使いのWi-Fi対応機器によって操作が異なります。

■「WPS方式」が「PIN発行」の場合の例

- 1** 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2** Wi-Fi接続したパソコンでWebブラウザを起動し、本端末の設定ページ(L-02F 設定ツール)にログインする
- 3** ログインされている設定ページ(L-02F 設定ツール)のWPS設定ページのWPS方式欄にある「PIN発行」を選択する
- 4** WPS設定ページのPIN欄にある「生成」をクリックし、WPS PINを作成する
8桁のWPS PINコードが表示されます。
- 5** 接続するWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにし、「WPS-PIN」に8桁のWPS PINコードを入力する
本端末のディスプレイにチェックマークが表示されると、WPSにアクセス成功です。

■「WPS方式」が「PIN入力」の場合の例

- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す**
本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能が「OFF」の場合は「ON」にしてください。
- 2 Wi-Fi接続したパソコンでWebブラウザを起動し、本端末の設定ページ(L-02F 設定ツール)にログインする**
- 3 ログインされている設定ページ(L-02F 設定ツール)のWPS設定ページのWPS方式欄にある「PIN入力」を選択する**
- 4 接続するWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をオンにし、「WPS-PIN」アクセスを選択する**
Wi-Fi対応機器側に8桁のWPS PINコードが表示されます。
- 5 ログインされている設定ページ(L-02F 設定ツール)のWPS設定ページのPIN欄に、Wi-Fi対応機器側に表示されている数字8桁を入力して、「接続」をクリックする**
本端末のディスプレイにチェックマークが表示されると、WPSにアクセス成功です。

各種の設定をする

Wi-Fi接続したパソコンでWebブラウザを起動し、本端末の設定ページを表示して、本端末の設定をお使いの環境に合わせて変更することができます。

- パソコンからUSBテザリングで接続した場合でも設定できます。その場合は本端末の設定メニューで「USBテザリング」を「オン」に設定してください。(→P114)
- ※ なお、ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。
- ※ 本端末の設定メニューでも同様の設定を行えます。詳しくは、「各種設定 (Webブラウザ)」(→P73) または「各種設定 (本端末の設定メニュー)」(→P108) を参照してください。

インターネットに接続する

インターネット接続について

本端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。

詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

インターネットサービスプロバイダとの接続設定は、本端末のプロファイルに登録します。

設定方法について、詳しくは「接続先の設定を登録する」（→P77）を参照してください。

- プロファイルは、最大10個まで登録できます。
- mopera Uに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。

インターネットに接続する

本端末の電源を入れると、プロファイルに設定された接続先に自動的に接続され、インターネットが利用できるようになります。お使いのWi-Fi対応機器で、インターネットに接続されていることを確認してください。

複数のプロファイルを登録している場合の接続先の選択方法については、「ネットワーク検索の設定」（→P120）を参照してください。

公衆無線LANを利用してインターネット接続する

駅やカフェなどの公衆無線LANに接続してインターネットを利用することもできます。「公衆無線LAN」(→P79)を設定してください。

- 公衆無線LANサービスを利用する場合は、別途お申し込みや設定が必要な場合があります。設定内容などの詳細は、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

各種設定 (Web ブラウザ)

設定ページ (L-02F 設定ツール) にログインする

Wi-Fi接続したパソコンでWeb ブラウザを起動し、本端末の設定ページ (L-02F 設定ツール) を表示して各種の機能を設定することができます。

- 設定ページにログインできるのは、プライマリSSIDに接続しているWi-Fi対応機器のみとなります。セカンダリSSIDに接続しているWi-Fi対応機器ではログインできません。
- パソコンの場合はUSBテザリングでも設定できます。その場合は本端末の設定メニューで「USBテザリング」を「オン」に設定してください。(→P114)
- 項目によっては、本端末の設定メニューでも同じ設定ができる場合があります。

お知らせ

- ブラウザが搭載されている端末であれば、パソコン以外であっても端末本体の設定変更が可能です。ただし、一部利用できないメニューがあります。また、ブラウザの種別によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 本端末の設定ページは、以下のWeb ブラウザに対応しています。
Windows : Microsoft Internet Explorer 10以降、
Firefox 22以降、Google Chrome 28以降、Opera 15以降
Mac OS X : Safari 6.0以降
Android : 基本ブラウザ
iOS : 基本ブラウザ
※ お使いのブラウザによっては、画面や項目が表示できない場合があります。
※ ブラウザの設定で、Cookieを有効（保存する、受け入れる）にしてください。
※ ブラウザの設定で、キャッシュを無効（保存しない、常に確認する）にしてください。

1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入り、Wi-Fi機能が「ON」になります。

2 パソコンを起動し、Wi-Fi機能をオンにする
本端末とパソコンがWi-Fi接続されます。
・初めて接続するときは、Wi-Fi接続のセットアップが必要です。「Wi-Fi対応機器を接続する」(→P58)を参照して、セットアップを行ってください。

3 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.225.1/」と入力してEnterキーを押す

「ログイン」画面が表示されます。

- ・WindowsパソコンでL-02Fドライバをインストール済みの場合は、デスクトップ画面上のL-02F設定ツールのショートカットをダブルクリックしても「ログイン画面」を表示することができます。
- ・「192.168.225.1」は、本端末のプライベートIPアドレスの初期設定です。設定を変更しているときは、設定したプライベートIPアドレスを入力してください(→P90「DHCP機能を設定する」)。

4 「パスワード」欄にログインパスワード(初期設定:「1234」)を入力して、「ログイン」をクリックする

- ・「ユーザー名」欄には「Admin」と表示されます。変更することはできません。
- ・「言語」欄で、設定ページの表示言語を選択することができます。



■ PIN1コード設定時

PIN1コード確認画面が表示されます。「ログイン画面に戻る」をクリックし、本端末でPIN1ロックを解除してから、再度ログインしてください。



お知らせ

- セキュリティを確保するため、ログインパスワードの初期設定を変更することをおすすめします。詳しくは「ログインパスワードを変更する」(→P98)を参照してください。

設定ページの画面について



1 トップメニュー

メニュー項目をクリックして設定ページを切り替えます。以下の項目を選択できます。

- 設定情報 (→P76)
- プロバイダ設定 (→P77)
- 公衆無線LAN (→P79)
- ネットワーク設定 (→P81)
- Wi-Fi設定 (→P82)
- ルーター設定 (→P91)
- システム設定 (→P96)
- クレードル (→P103)

クレードルと本端末を接続中のみ表示されます。選択した項目によっては、さらにサブメニューが表示され、設定画面を切り替えることができます。

2 「ログアウト」

設定ページからログアウトするときをクリックします。

3 設定画面

メニュー項目で選択した機能についての設定項目などが表示されます。

4 編集

設定を変更するときをクリックします。

5 更新

「設定情報」画面の表示内容を更新するときをクリックします。

6 ?

ヘルプが表示されます。

端末の接続状態や設定状態を確認する

1 トップメニューの「設定情報」をクリックする

「設定情報」画面が表示されます。

- **更新** をクリックして情報を更新することができます。



ネットワーク : 接続中のネットワークの種類 (LTE/3G/GSM) ※ (LTE/3G/GSM) が表示されます。

ネットワーク名 ※ : 接続中のネットワーク名が表示されます。

FOMA/Xi電波受信レベル ※ : 現在の受信レベルが表示されます。

無線LAN状態 : Wi-Fi機能の状態が表示されます。

周波数帯域 (無線LAN)	: 無線LANへのアクセスに使用している周波数帯が表示されます。
公衆無線LAN	: 公衆無線LANへの接続機能の設定状態が表示されます。公衆無線LAN接続時は、接続中のアクセスポイント名が表示されます。
接続クライアント	: 現在のWi-Fi接続端末数が表示されます。
Wi-Fi自動オフ	: Wi-Fi自動オフ機能の設定状態が表示されます。
WPS	: WPSの設定状態が表示されます。
電話番号*	: ドコモminiUIMカードの電話番号が表示されます。
データ通信量 表示*	: 本端末のディスプレイにデータ通信量を表示するかどうかの設定状態が表示されます。
クレードル 接続状態	: クレードルの接続状態を表示します。
インタフェース情報	: IPアドレスや、MACアドレスなどを表示します。

※ ドコモminiUIMカードが挿入されてない場合、項目は表示されません。また、「電話番号」欄は「-」と表示され、「設定情報」画面には「ドコモUIMカードが挿入されていないか、有効ではありません。」と表示されます。

プロバイダを設定する

接続先を登録する

接続先の登録、編集、削除を行います。最大10個までの接続先を登録できます。

- お買い上げ時には、あらかじめmopera Uに接続するための設定が登録されており、削除することはできません。mopera Uをご利用になる場合は、以下の設定は不要です。

- 1 トップメニューの「プロバイダ設定」をクリックする
- 2 新しい接続先を登録する場合は、「追加」をクリックする



3 設定画面で各項目を設定する

プロファイル名

任意の接続先名を以下の範囲で入力します。

- 最大15文字までの、半角英数字と半角スペース

接続先 (APN) 名

APN名を以下の範囲で入力します。

- 最大99文字までの、半角英数字と記号(!@#% ^&* _ - . / : | () < > \| [] += "" ? \) と半角スペース

ユーザー名

プロバイダが指定したユーザー名を以下の範囲で入力します。

- 最大64文字までの、半角英数字と記号(!@#% ^&* _ - . / : | () < > \| [] += "" ? \) と半角スペース

パスワード

プロバイダが指定したパスワードを以下の範囲で入力します。

- 最大32文字までの、半角英数字と記号(!@#% ^&* _ - . / : | () < > \| [] += "" ? \) と半角スペース

認証方式

接続先の認証方法を選択します。

- None
- PAP
- CHAP

4 新しい接続先を登録する場合は、「保存」をクリックする

5 「適用」をクリックして設定内容を保存する

お知らせ

- 登録したプロファイル名は変更できません。プロファイル名を変更する場合は、プロファイルを削除し、再度登録してください。

■ 登録した接続先をプロファイルに設定する場合

- 1 「プロファイル選択」でプロファイルに設定する接続先を選択する
- 2 「適用」をクリックする

■ 既存の接続先を編集してプロファイルに設定する場合

- 1 「プロファイル選択」で編集する接続先を選択する
- 2 設定を変更したい項目を編集する
- 3 「適用」をクリックする

■ 既存の接続先を削除する場合

- 1 「プロファイル選択」で削除する接続先を選択する
- 2 「削除」をクリックする
- 3 「OK」をクリックする

公衆無線LANを設定する

自宅や会社の無線LANルーターに接続したり、外出先では公衆無線LANサービスを利用したりして、インターネットに接続できるようにします。

- 公衆無線LANサービスを利用する場合は、別途お申し込みや設定が必要な場合があります。設定内容などの詳細は、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

お知らせ

- 本端末とクレードル L01 が接続されており、WAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されている場合はご利用いただけません。

1 トップメニューの「公衆無線LAN」をクリックする

2 設定画面で各項目を設定する



公衆無線LAN

公衆無線LANへの接続機能を利用するかどうかを設定します。

- 使用する
- 使用しない

■ 使用するとき

SSID表示

SSIDの表示設定を切り替えます。

- 全ての検索結果を表示：すべてのアクセスポイントを表示します。
- 登録済みAPを表示：ユーザー指定APとして登録されたアクセスポイントを検索して表示します。

ネットワーク通知

接続履歴に無い暗号化されていないアクセスポイントを検出したときに、通知します。

検索結果

「スキャン」をクリックすると、接続可能なアクセスポイントがリスト表示されます。

- ：アクセスポイントに接続します。
- ：接続していたアクセスポイントを切断します。
- ：ユーザー指定APとしてアクセスポイントを10件まで登録できます。

接続履歴

アクセスポイントへの接続履歴を10件まで表示します。

- ：アクセスポイントを削除します。
- ：アクセスポイントの設定を変更できます。
- ：アクセスポイントに接続するときの優先順位を変更できます。

各種設定 (Web ブラウザ)

アクセスポイント追加

アクセスポイントを追加します。「アクセスポイント名」、「セキュリティ」を設定し、「保存」をクリックしてください。

■ WEP設定時

パスワード

WEPのセキュリティキーを入力します。

半角英数字で、5文字、10文字、13文字、26文字のキーを入力できます。

- 5文字または13文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z)
- 10文字または26文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

■ WPA/WPA2-PSK設定時

パスワード

WPA/WPA2のセキュリティキーを8～64文字入力できます。

- 8～63文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z) と記号 (!@#\$%^&*~.:;/|()<>||[]+=``"?'`)
- 64文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

■ EAP-SIM設定時

自動的に認証が行われるため、特に設定はありません。

■ EAP-AKA設定時

自動的に認証が行われるため、特に設定はありません。

3 「検索結果」でアクセスポイントを選択した場合はセキュリティキーを入力する

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

ネットワークを設定する

接続先を選択する

接続先のネットワークを指定することができます。
(→P120)

- 日本国内では、この機能は利用できません。

データ通信量を表示する

通信に使用されたデータ容量が表示されます。海外でのデータ通信量は加算されません。また、国際ローミング中はデータ通信量が表示されません。

- 1 トップメニューの「ネットワーク設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「データ通信量表示」をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



現在の使用量

最新の情報を見る場合は、「更新」をクリックします。
使用量情報をクリアする場合は、「リセット」をクリックします。

下記の場合にも、使用量が自動的にリセットされます。

- 毎月1日0時
- ドコモ miniUIMカードを差し替えた場合
- SIMロック解除した場合

画面表示設定

- 使用データのみ：本端末のディスプレイにデータ通信量が表示されます。
- 使用データと上限値：本端末のディスプレイにデータ通信量の現在の使用量と上限値が表示されます。
- 表示しない：本端末のディスプレイにデータ通信量が表示されません。

最大データ通信量設定

「画面表示設定」で「使用データと上限値」を選択すると入力できます。

有効な数値*を入力します。

※有効な数値：1～99の正の整数

入力不可：負数、0、小数点および有効な数値以外

※最大データ通信量を設定しても、設定した通信量で通信が止まるように制限をかけておりません。目安としてご利用ください。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

無線LANの詳細設定をする

お知らせ

- Wi-Fi機能を海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

Wi-Fiの基本機能を設定する

- 1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「基本設定」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



周波数帯域

使用する周波数帯域を設定します。

- 2.4GHz
- 2.4/5GHz (クレードルのみ)

「2.4/5GHz (クレードルのみ)」選択時にクレードル LO1 を接続すると5GHzを使用してWi-Fi接続します。2.4GHzを使用する場合は「2.4GHz」を選択してください。

SSID / キー画面表示

本端末の設定メニューの「基本情報」にセキュリティキーを表示するかどうかを設定します。

- 表示する
- 表示しない

プライバシーセパレーター

異なるSSIDに接続しているクライアント間の通信可否を設定します。プライバシーセパレーター設定を有効にすると、有線接続されたネットワーク機器、および、異なるSSIDに接続しているWi-Fi対応機器間の通信はできなくなります。

- 使用する
- 使用しない

※同じSSIDに接続しているWi-Fi対応機器間の通信には影響ありません。

■ 2.4GHz 設定

国情報

本端末を使用する国を選択します。

(日本、韓国を選択すると13チャンネルまで選択できます。カナダ、アメリカ合衆国を選択すると11チャンネルまで選択できます。)

無線LANチャンネル

無線LANのチャンネルを選択します。

※公衆無線LANに接続した場合は、自動的に接続したアクセスポイントのチャンネルに変更されます。

無線LANモード

無線LANの動作モードを選択します。

- 11bのみ
- 11b/g
- 11gのみ
- 11nのみ
- 11b/g/n

(無線LANセキュリティ(→P84)を「WEP」に設定している場合、または「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK-mixed」に設定して「TKIP」を選択している場合は、「11nのみ」と「11b/g/n」は選択できません。)

無線LAN帯域幅

無線LAN帯域幅を選択します。

- 20MHz
- 20/40MHz: 「無線LANモード」が「11b/g/n」、「11nのみ」に設定されている場合にのみ選択できます。

MIMO

MIMO機能を使用するかどうかを選択します。

- 使用する
- 使用しない

■ 5GHz 設定

無線LANチャンネル

無線LANのチャンネルを選択します。

※ 公衆無線LANに接続した場合は、自動的に接続したアクセスポイントのチャンネルに変更されます。

無線LANモード

無線LANの動作モードを選択します。

- 11aのみ
- 11nのみ
- 11acのみ
- 11a/n
- 11/a/n/ac

(無線LANセキュリティ (→P84) を「WEP」に設定している場合、または「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK mixed」に設定して「TKIP」を選択している場合は、「11aのみ」を選択できます。)

無線LAN帯域幅

無線LAN帯域幅を選択します。

- 20MHz
- 20/40MHz: 「無線LANモード」が「11aのみ」以外に設定されている場合にのみ選択できます。
- 80MHz: 「無線LANモード」が「11acのみ」に設定されている場合にのみ選択できます。
- 20/40/80MHz: 「無線LANモード」が「11a/n/ac」に設定されている場合にのみ選択できます。

MIMO

MIMO機能を使用するかどうかを選択します。

- 使用する
- 使用しない

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

無線LANのセキュリティモードを設定する

1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする

2 サブメニューの「SSID設定」をクリックする

3 設定画面でプライマリSSIDの各項目を設定する



SSID名

SSID名を以下の範囲で入力します。

- 最大32文字までの、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z) と記号 (!@#\$%^&*-_!./:|()<>|| []+=``'?)

無線LANセキュリティ

無線LANのセキュリティモードを選択します。

- Open
- WEP
- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA/WPA2-PSK mixed

セキュリティモードの設定によって、以下の設定項目が異なります。

■ Open 設定時

特に設定はありません。

■ WEP 設定時

パスワード

WEPのセキュリティキーを入力します。

半角英数字で、5文字、10文字、13文字、26文字のキーを入力できます。

- 5文字または13文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z)
- 10文字または26文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

■ WPA-PSK 設定時

暗号化方式

暗号化方式を選択します。

- TKIP/AES
- AES
- TKIP

パスワード

WPAのセキュリティキーを8～64文字入力できます。

- 8～63文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z) と記号 (!@#\$%^&*-_!./:|()<>|| []+=``'?)
- 64文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

キー更新間隔 (秒)

暗号化キー(パスワード)の更新間隔を設定します。

■ WPA2-PSK 設定時

暗号化方式

暗号化方式を選択します。

- TKIP/AES
- AES
- TKIP

パスワード

WPA2のセキュリティキーを8～64文字入力できます。

- 8～63文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z) と記号 (!@#\$%^&*-_!./:|()<>|| []+=``'?)
- 64文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

キー更新間隔 (秒)

暗号化キー (パスワード) の更新間隔を設定します。

■ WPA/WPA2-PSK mixed設定時

暗号化方式

暗号化方式を選択します。

- TKIP/AES
- AES
- TKIP

パスワード

WPA/WPA2のセキュリティキーを8～64文字入力できます。

- 8～63文字のキーの場合、半角英数字 (0～9、a～z、A～Z) と記号 (!@#\$\$%^&* _.:;/|()<>||[]+=~"?' \)
- 64文字のキーの場合、16進数 (0～9、a～f、A～F)

キー更新間隔 (秒)

暗号化キー(パスワード)の更新間隔を設定します。

接続可能端末数

接続できる端末数を選択します。

APアイソレーション

同じSSIDに接続している機器同士の通信を許可するかどうかを設定します。

SSIDステルス

SSIDを他の機器から検出できないようにします。

セカンダリSSID

セカンダリSSIDを使用する場合は「セカンダリSSID」を「使用する」に設定してください。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

セカンダリSSIDを設定する

セカンダリSSID機能を利用して、異なるセキュリティモードのWi-Fi対応機器を同時に接続できるようにします。ゲーム機など、WEPやOpenに対応しているWi-Fi対応機器はセカンダリSSIDに接続します。「無線LANセキュリティ」の「接続可能端末数」(→P86)が「10」に設定されているときはセカンダリSSIDを使用できません。

- 無線LANセキュリティの設定によって、設定する項目が異なります。

1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする

2 サブメニューの「SSID設定」をクリックする

3 「セカンダリSSID」を「使用する」に設定する

設定項目が表示されます。

4 設定画面で各項目を設定する



SSID名 (→P59)

無線LANセキュリティ (→P85)

暗号化方式 (→P85)

「無線LANセキュリティ」で、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK mixedを選択すると表示されます。

パスワード (→P85)

「無線LANセキュリティ」で、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK mixedを選択すると表示されます。

キー更新間隔 (秒) (→P85)

「無線LANセキュリティ」で、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK mixedを選択すると表示されます。

接続可能端末数 (→P86)

APアイソレーション (→P86)

SSIDステルス (→P86)

5 「適用」をクリックして設定内容を保存する

WPS機能を設定する

お知らせ

- 「無線LANセキュリティ」(→P85) に以下を設定しているときはWPS機能を利用できません。
 - WEP
 - WPA-PSK
 - WPA2-PSK (TKIP)
 - WPA/WPA2-PSK mixed (TKIP)
- プライマリSSIDに設定した最大のクライアントが接続されている場合、WPS機能を利用できません。

1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする

2 サブメニューの「WPS」をクリックする

3 設定画面で各項目を設定する



WPS

WPS機能を利用するかどうかを選択します。

- ・ 使用する
- ・ 使用しない

■ 使用するとき WPS方式

WPS機能の方式を選択します。

- ・ プッシュボタン：WPSボタンを使用して接続を行います。
- ・ PIN発行：本端末でWPS用のPINコード（数字8桁）を生成し、接続したい端末にPINコードを入力して接続を行います。
- ・ PIN入力：接続する端末側で発行されたPINコード（数字8桁）を本端末に入力して、接続を行います。

WPS接続

「接続」をクリックすると、設定したWPS方式で、WPS接続を開始します。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

「適用」ボタンをクリックして保存されたWPS方式は本端末が再起動されても維持できます。

各種設定 (Webブラウザ)

MACアドレスフィルタを設定する

- 1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「MACアドレスフィルタ」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



フィルタリングモード

MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。

- ・ 使用しない
- ・ 許可：指定したMACアドレスの端末のみ接続を許可します。
- ・ 拒否：指定したMACアドレスの端末との接続を禁止します。

- 許可または拒否設定時
MACアドレスの入力欄が表示されます。
指定する端末のMACアドレスを入力します。
最大10個のMACアドレスを指定できます。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

接続クライアントを確認する

- 1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「接続クライアント」をクリックする
- 3 接続クライアントの情報が表示される
 - ・  をクリックして情報を更新することができます。



4 接続を解除する場合は、「切断」欄の▶をクリックする

- ・ 各クライアントはMACアドレスで表示されます。接続を解除するクライアントを間違えないよう、ご注意ください。
- ・  許可：MACアドレスフィルタの許可リストに登録します。
- ・  拒否：MACアドレスフィルタの拒否リストに登録します。

DHCP機能を設定する

- 1 トップメニューの「Wi-Fi設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「DHCP」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



IPアドレス

本端末のプライベートIPアドレスを設定します。

サブネットマスク

LANのサブネットマスクを設定します。

DHCPサーバ

DHCP機能を利用するかどうかを選択します。

- ・ 設定する
- ・ 設定しない

プライマリDNS

プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。0.0.0.0の場合は、事業者が提供するDNSサーバのIPアドレスが適用されます。

セカンダリDNS

セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。

MTU(byte)

1度に送信するデータの最大値を変更できます。578～1500の範囲で指定します。

■ 設定するとき

先頭IPアドレス

端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。

末尾IPアドレス

端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。

- ・ 固定IPアドレスが登録されている場合、DHCPの割り当ては、登録済みの固定IPアドレスを含んだ範囲のみ設定できます。

登録済み固定IPアドレスリスト

登録済みのMACアドレス、IPアドレスを表示します。

固定IPアドレス追加

固定IPアドレスを追加できます。本端末に接続中の端末を登録する場合、 をクリックすると、MACアドレス、IPアドレスが項目欄に入力されます。「登録」ボタンをクリックして追加してください。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

お知らせ

- USBテザリング使用中に本端末のIPアドレスを変更した場合、以下のいずれかの操作を実施してください。
 - USBケーブルの抜き差し (→P49)
 - USBテザリング設定をOFF→ON (→P114)

ルーター設定を行う

ファイアウォール機能を利用する

ファイアウォール機能を利用して、インターネットからの不正なアクセスを防止することができます。また、IPアドレスフィルタを設定することができます。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「ファイアウォール」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



ファイアウォール

ファイアウォール機能を有効にするかどうかを設定します。

- 使用する: ファイアウォール機能を有効にします。
- 使用しない: ファイアウォール機能を無効にします。

■ 使用するとき

 をクリックして、IPアドレスを登録します。

インターネットIPアドレス

インターネット側のIPアドレスを入力します。

LAN IPアドレス

LAN側のIPアドレスを入力します。

方向

ファイアウォールを使用する通信の方向を指定します。

- Internet->LAN: Internet側からLAN側への通信を指定します。
- LAN->Internet: LAN側からInternet側への通信を指定します。

プロトコル

適用するプロトコルを選択します。「TCP」、「UDP」、「任意」を選択した場合は、「ポート番号」欄が表示されます。

- 全て
- TCP
- UDP
- ICMP
- 任意

ポート番号

プロトコル設定で「TCP」、「UDP」、「任意」を選択した場合、ポート番号を選択または入力します。ポート番号は1～65535を入力できます。

ファイアウォール動作

ファイアウォールの動作を設定します。

- 透過: 登録したIPアドレスとの通信を透過します。
- 無視: 登録したIPアドレスとの通信を遮断します。

ファイアウォール設定リスト

登録されているファイアウォール設定の一覧が表示されます。

- : ファイアウォール設定を削除します。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

WAN側からのPingを破棄する

WAN側からアクセスするPing要求を破棄して応答しないようにすることで、本端末やLAN側端末のIP情報の漏えいを防止することができます。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「WAN Pingブロック」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



WAN Pingブロック

WAN Pingブロック機能を有効にするかどうかを設定します。

- ・ 使用する：WAN Pingブロック機能を有効にします。
- ・ 使用しない：WAN Pingブロック機能を無効にします。

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

IDENTを設定する

Internet側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「IDENT」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



IDENT

- ・ 許容
- ・ 遮断

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

DMZを設定する

本端末のネットワークに接続した機器1台をDMZに指定することができます。

設定した機器にはインターネット側から発信されたパケットが中継されます。

DMZを使用するときは、接続するネットワーク機器のIPアドレスを指定します。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「DMZ」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



DMZ

- 使用する: DMZを有効にし、接続するネットワーク機器のIPアドレスを入力します。
- 使用しない

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する
各種設定 (Web ブラウザ)

ポートマッピングを設定する

Internet側から開始される通信について許可する(ポート変換)設定を行います。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「ポートマッピング」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



ポートマッピング

- 設定する: ポートマッピングを有効にします。
- 設定しない

■ 設定する場合

「追加」をクリックします。

「From」からの接続要求を「To」の特定の端末（IPアドレスとポート番号）に自動的に転送します。

From

- IPアドレス：本端末が接続しているInternet側のIPアドレスが表示されます。(編集できません)
- ポート番号
プロトコルを選択し、使用するポート番号を入力します。
 - TCP
 - UDP

To

- IPアドレス：本端末に接続しているクライアントのIPアドレスを指定します。
- ポート番号：プロトコルは自動で設定されます。転送先のポート番号を入力します。

4 「保存」をクリックして設定内容を保存する

VPN接続

本端末はVPNパススルー機能を提供します。

VPNパススルー機能は、本端末に接続されたクライアントが、外部VPNでの接続をサポートする機能です。本端末が対応しているVPNプロトコルは、PPTP、L2TP、IPsecです。

また、本端末は、VPNマルチパススルー（多数のクライアントにVPNパススルー同時サポート）を提供しています。

UPnP機能を設定する

UPnP機能を利用するアプリケーションなどを使用する場合は、UPnP機能を「使用する」に設定してください。

- 1 トップメニューの「ルーター設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「UPnP」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



UPnP

UPnP機能を利用するかどうかを選択します。

- 使用する
- 適用しない

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

システムを管理する

本端末を暗証番号で保護する

この機能を設定すると、ネットワーク通信がロックされ、本端末の電源を入れたときに暗証番号（PIN1コード）の入力が要求されます。

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「PIN1ロック」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



PIN1ロック状態

現在の設定状態が表示されます。

- ロック中：PIN1ロックが設定されている状態
- ロック解除中：PIN1ロックが解除されている状態

PIN1コード入力（ロック）／（ロック解除）

ロックの有効／無効（PIN1コード入力の有効／無効）を変更する場合、ドコモminiUIMカードのPIN1コードを入力します。

残り回数

PIN1コードの入力可能な回数が表示されます。（→P32）

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

PIN1 ロックを解除する

PIN1 コードの入力を3回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード」(→P32)を入力し、ロックを解除してください。

- 1 「PINロック解除コード」欄にPINロック解除コードを入力する
- 2 「新PIN1コード」欄に新しく設定するPIN1コードを入力する
- 3 確認のため、「確認用PIN1コード」欄に「新PIN1コード」と同じPIN1コードを入力する
- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

暗証番号を変更する

暗証番号 (PIN1 コード) を変更することができます。

- 暗証番号 (PIN1 コード) の変更は、PIN1 ロック (→P96) が「ロック中」に設定されている場合のみ行えます。

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「PIN1 ロック」をクリックし、「変更」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



旧PIN1コード

ドコモminiUIMカードに設定されているPIN1コードを入力します。

新PIN1コード

新しく設定するPIN1コードを入力します。

確認用PIN1コード

確認のため、「新PIN1コード」と同じPIN1コードを入力します。

残り回数

PIN1コードの入力可能な回数が表示されます。
(→P32)

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する**
PIN1コードが変更されます。

ログインパスワードを変更する

設定ページのログイン用パスワードを変更することができます。パスワードは4桁から32桁の半角英数字と、記号（`!@#\$%^&*_-.;:/()<>|{}+=` `?` ``\`）を設定できます。

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「ログインパスワード変更」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



旧パスワード

現在設定されているパスワードを入力します。

新パスワード

新しく設定するパスワードを入力します。

新パスワード（確認）

確認のため、「新パスワード」と同じパスワードを入力します。

4 「適用」をクリックする

「パスワードが変更されました。」というメッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックする

設定データのバックアップ／復元

設定ページの本体設定データを、パソコンに保存することができます。また、保存した設定データを本端末に読み込むことができます。

1 トップメニューの「システム設定」をクリックする

2 サブメニューの「バックアップと復元」をクリックする

3 設定画面で以下の操作をする



ファイルへバックアップ

「バックアップ」をクリックし、ファイル名（デフォルトでは「L02F_webcm_config.cfg」）を指定して、現在の設定内容を保存します。

※ お使いのブラウザによっては、ファイル名が指定できないことがあります。

ファイルから復元

「参照...」（お使いのブラウザによっては「ファイルを選択」）をクリックし、読み込むファイルを指定します。

4 「適用」をクリックする

本端末が再起動し、設定ページからログアウトされます。

設定を初期化する

設定ページのすべての設定内容をお買い上げ時の状態に初期化することができます。ただし、ディスプレイに表示されるデータ通信量はリセットされません。データ通信量をリセットする方法は、「データ通信量を表示する」(→P81)を参照してください。

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「リセット」をクリックする
- 3 「リセット」をクリックする



- 4 「OK」をクリックする

設定ページからログアウトされ、通信も切断されます。

バージョン情報を確認する

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「バージョン」をクリックする
ファームウェアや本端末のバージョン情報が表示されます。



Wi-Fi パワーコントロールを設定する

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「Wi-Fi パワーコントロール」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



自動オフタイマー (分)

クライアントの接続が一定時間以上ない場合に自動的にWi-Fi機能をオフにして、省電力モードにするかどうかを選択します。

- 使用しない：オフにしない
- 10
- 30
- 60

DTIM 値 (100ms)

DTIMを挿入する間隔を設定します。

- 設定可能範囲は1～10です。

電波強度

Wi-Fiの出力を変更できます。出力を下げると本端末を利用できる範囲は狭くなりますが、他のネットワークへの電波干渉を抑えることができます。

- 100%
- 75%
- 50%
- 35%
- 15%

自動オフタイマー無効 (クレードル接続中)

クレードル接続時に自動オフタイマーを無効にします。

- 使用する：無効にする
- 使用しない：無効にしない

自動オン (クレードル取付時)

クレードル接続時にWi-Fiが停止していた場合、自動的にWi-Fi機能をオンにします。

- 使用する：オンにする
- 使用しない：オンにしない

- 4 「適用」をクリックして設定内容を保存する
設定ツールからログアウトされます。

お知らせ

- 自動オフタイマー機能は充電中も有効です。
- 自動オフタイマーでは公衆無線LAN機能も無効になります。
- 自動オフタイマーでWi-Fi機能が無効になった場合は、ホーム画面で「Wi-Fi」をロングタッチしてWi-Fi機能を有効にしてください。

アクセスポイント動作モードを設定する

本端末をクレードルに取り付けたときの、動作モードを設定します。

- 1 トップメニューの「システム設定」をクリックする
- 2 サブメニューの「アクセスポイント動作モード」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



アクセスポイント動作モード

- ルーター：本端末をルーターとして動作させるモードです。接続された機器には本端末よりIPアドレスを割り当てます。
- ブリッジ：外部のルーターに接続する場合に使用するモードです。本端末に接続された機器に外部のDHCPサーバよりIPアドレスが割り当てられます。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

お知らせ

- ブリッジモードを使用する場合は、クレードル L01 のWAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されていることをご確認ください。

クレードルを設定する

インターネットの設定を行う

付属のクレードル L01 を経由して固定ブロードバンドに対してDHCP、または手動IPアドレスで接続を行うための設定を行います。

ここでの設定はクレードル L01 のWAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されているときに有効になります。

- 1 トップメニューの「クレードル」をクリックする
- 2 サブメニューの「インターネット」をクリックする
- 3 設定画面で各項目を設定する



IPアドレス設定

- 自動
- DHCP使用
- PPPoE使用
- 手動

インターネットMACアドレス

インターネットMACアドレスを設定します。「デフォルト値」をクリックすると初期設定に戻ります。

インターネットMTU

1度に送信するデータの最大値を変更できます。
578～1500の範囲で指定します。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

PPPoEの設定を行う

付属のクレードル L01 を経由して固定ブロードバンドに対してPPPoE接続を行うための設定を行います。ここでの設定はクレードル L01 のWAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されているときに有効になります。

- 1 トップメニューの「クレードル」をクリックする
- 2 サブメニューの「PPPoE」をクリックする
- 3 新しい接続先を登録する場合は、「追加」をクリックする



4 設定画面で各項目を設定する

PPPoE名

任意の接続先名を以下の範囲で入力します。

- 最大15文字までの半角英数字

ユーザー名

プロバイダが指定したユーザー名を以下の範囲で入力します。

- 最大63文字までの、半角英数字と記号(!@#\$%^&*-_./:|()<>{}+=?'"\)

パスワード

プロバイダが指定したパスワードを以下の範囲で入力します。

- 最大63文字までの、半角英数字と記号(!@#\$%^&*-_./:|()<>{}+=?'"\)

サービス名

サービス名を以下の範囲で入力します。

- 最大15文字までの半角英数字

認証方式

接続先の認証方法を選択します。

- Auto
- CHAP only
- PAP only

MTU

1度に送信するデータの最大値を変更できます。
578 ~ 1492の範囲で指定します。

MRU

1度に受信するデータの最大値を変更できます。
578 ~ 1492の範囲で指定します。

5 「保存」をクリックし設定内容を保存します。

お知らせ

- クレードル L01 にLANケーブルを接続していない状態で PPPoE 設定を行うと、設定の更新に時間がかかる場合があります。

■ 登録した接続先を編集してプロファイルに設定する場合

- 1 「PPPoE 選択」で接続先に設定する PPPoE 名を選択する
- 2 「適用」をクリックする

■ 既存の接続先を編集してプロファイルに設定する場合

- 1 「PPPoE 選択」で編集する接続先を選択する
- 2 設定を変更したい項目を編集する
- 3 「適用」をクリックする

■ 既存の接続先を削除する場合

- 1 「PPPoE 選択」で削除する接続先を選択する
- 2 「削除」をクリックする
- 3 「OK」をクリックする

クレードルのソフトウェアを更新する

- 1 トップメニューの「クレードル」をクリックする
- 2 サブメニューの「システム設定」をクリックする
ファームウェアバージョン情報が表示されます。



- 3 「更新」をクリックする

お知らせ

- ・ クレードルのソフトウェアを更新中は、本端末およびACアダプタをクレードルから外さないでください。クレードルのソフトウェア更新が正しく行われない可能性があります。

クレードル設定のバックアップ／復元

クレードル設定のすべての設定データを、設定ページを開いているパソコンに保存することができます。また、保存した設定データを本端末に読み込むことができます。

- 1 トップメニューの「クレードル」をクリックする
- 2 サブメニューの「バックアップと復元」をクリックする
- 3 設定画面で以下の操作をする



ファイルへバックアップ

「バックアップ」をクリックし、ファイル名（デフォルトでは「L02F_cradle_config.cfg」）を指定して、現在の設定内容を保存します。

※ お使いのブラウザによっては、ファイル名が指定できないことがあります。

ファイルから復元

「参照…」(お使いのブラウザによっては「ファイルを選択」)をクリックし、読み込むファイルを指定します。

4 「適用」をクリックする

クレードル設定を初期化する

クレードルのすべての設定内容を、お買い上げ時の状態に初期化することができます。

- ・ クレードルのResetボタンを押したときと同じ動作になります。

- 1 トップメニューの「クレードル」をクリックする
- 2 サブメニューの「リセット」をクリックする
- 3 「リセット」をクリックする
- 4 「OK」をクリックする

各種設定（本端末の設定メニュー）

本端末のディスプレイ（設定メニュー）で設定する

設定メニューの操作について詳しくは、「本端末のメニュー操作」（→P43）を参照してください。

プロバイダ設定

- 1 ホーム画面で「」をタップ
設定メニューが表示されます。
- 2 「プロバイダ設定」をタップ

3 「追加」をタップ



プロフィール名（→P78）
接続先（APN）名（→P78）
ユーザー名（→P78）
パスワード（→P78）
認証方式（→P78）

4 「保存」をタップ

お知らせ

- 登録したプロファイル名は変更できません。プロファイル名を変更する場合は、プロファイルを削除し、再度登録してください。
- 選択されているプロファイルは、● (オレンジ) で表示されます。プロファイルの右端に表示される ● (グレー) をタップして、プロファイルを選択します。プロファイル名をタップすると、プロファイルの詳細が表示されます。ただし、パスワードは「*」で表示されます。

Wi-Fi 設定

- 1 ホーム画面で「器」をタップ
設定メニューが表示されます。
- 2 「Wi-Fi」をタップ



Wi-Fi

Wi-Fiを有効にするかどうかを設定します。

周波数帯域 (→P83)

プライマリSSID

設定されているプライマリSSIDの情報を編集できます。(→P85)

セカンダリSSID

セカンダリSSIDの有効/無効を設定できます。また、有効にしたときは、設定されたセカンダリSSIDの情報を編集できます。(→P86)

接続済みWi-Fi機器

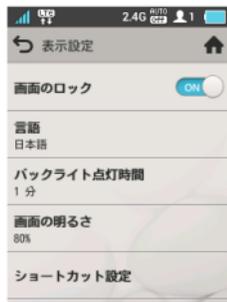
本端末に接続している機器の台数が表示されます。タップすると、接続している機器のMACアドレスを確認できます。

WPS

WPSの有効/無効およびWPSタイプを設定します。

表示設定

- 1 ホーム画面で「**器**」をタップ
設定メニューが表示されます。
- 2 「**表示設定**」をタップ



画面のロック

タッチパネルをロックするかどうかを設定します。

言語

画面に表示する言語を変更します。

バックライト点灯時間

画面が自動で消灯されるまでの時間を設定します。

画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

ショートカット設定

ホーム画面に設定メニューへのショートカットを配置できます。

データ使用量を表示する

データ通信量の目安を表示できます。
L-02F 設定ツールでも設定できます。(→ P81)

- 1 ホーム画面で「**器**」をタップ
設定メニューが表示されます。
- 2 「**モバイルネットワーク**」をタップ
- 3 「**データ使用量表示**」をタップ



表示モード

データ通信量の表示モードを切り替えます。

上限値設定

上限値の数値を変更できます。

ネットワークを検索する

L-02F 設定ツールでもネットワークを検索できます。
(→P120)

- 日本国内でネットワークに接続中の場合は、この機能は利用できません。

1 ホーム画面で「」をタップ

設定メニューが表示されます。

2 「モバイルネットワーク」をタップ

3 「ネットワーク検索」をタップ



ネットワーク検索

接続先ネットワークを指定するかどうかを選択します。

- 自動：接続できるネットワークが自動的に選択されます。

- 手動：接続先ネットワークを指定する場合に選択します。タップすると接続できるネットワークが検索され、ネットワークオペレーター画面に表示されます。

■ 手動を選択したとき

ネットワークオペレーター画面が表示されます。



ネットワークオペレーター

リストから接続先ネットワークをタップすると、ネットワークに接続します。

- **3G**：3Gネットワーク
- **GSM**：GSM/GPRSネットワーク
- **LTE**：LTEネットワーク

接続できる場合はネットワーク名に (○) が、接続できない場合は (×) が表示されます。

ネットワークモード

ネットワークを選択します。

- 3G/GSM：3GネットワークとGSM / GPRSネットワークを自動で選択して利用します。
- 3G：3Gネットワークのみを利用します。
- GSM：GSM / GPRSネットワークのみを利用します。

公衆無線LANの設定をする

L-02F 設定ツールでも同じ設定ができます。
(→P79)

1 ホーム画面で「器」をタップ

設定メニューが表示されます。

2 「公衆無線LAN」をタップ

「公衆無線LAN」をONにします。



公衆無線LAN

公衆無線LANに接続するかどうかを設定します。

表示モード

「公衆無線LAN」が「ON」のときに、アクセスポイントの表示方法を選択します。

- 登録済みAPを表示：ユーザー指定APとして登録されたアクセスポイントを検索して表示します。
- 全ての検索結果を表示：すべてのアクセスポイントを表示します。

ネットワーク通知

接続履歴に無い暗号化されていないアクセスポイントを検出したときに、通知するかどうかを設定します。「公衆無線LAN」が「ON」のときに設定できます。

Wi-Fiネットワーク

「公衆無線LAN」が「ON」のときに、アクセスポイントを検索してリスト表示します。



リストからアクセスポイントを選択してタップすると、アクセスポイントに接続します。接続中のアクセ

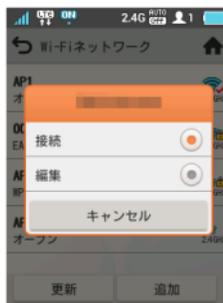
スポットを選択したときは、接続を切断できます。「更新」をタップすると、接続可能なアクセスポイントを再検索します。

-  (青色)：接続していないアクセスポイント
-  (チェック)：接続中のアクセスポイント
- ：セキュリティキーが設定されているアクセスポイント
- 公衆無線LAN受信レベル



お知らせ

- 本端末では、ASCII 128文字（英数字、一部の記号）のみ表示できます。それ以外の文字は「_（アンダーバー）」に置き換わって表示されるか、アクセスポイント名が「(Unknown)」と表示され、選択することができません。その場合は、L-02F 設定ツールで設定してください。(→P79)
なお、かな・漢字が含まれている場合は、文字が正常に表示されません。再度スキャンを行うと、表示が「_（アンダーバー）」に置き換わります。
- セキュリティキーは1度入力すると本端末に保存されます。セキュリティキーを入力し直す場合は、リストから未接続の状態のアクセスポイントをタップ→「編集」をタップしてください。



- 公衆無線LANを「ON」にした状態でサービスエリア内に入ってもすぐにアクセスポイントに接続されない場合、ホーム画面にてPWLANをOFF / ONするか、「」→「公衆無線LAN」から「Wi-Fiネットワーク」をタップしてアクセスポイントを検索してください。
- 本端末とクレードルLO1が接続されており、WAN/LAN切り替えスイッチが「WAN」に設定されている場合は「公衆無線LAN」をご利用いただけません。

システム設定

- 1 ホーム画面で「」をタップ
設定メニューが表示されます。
- 2 「システム設定」をタップ



Wi-Fi パワーコントロール

Wi-Fi 自動オフなどの設定を変更できます。
(→P101)

USB デザリング

USB デザリング機能のON / OFF を切り替えます。
(→P114)

PIN1 ロック設定

PIN1 ロックを設定したり、暗証番号 (PIN1 コード) を変更できます。(→P96)

バイブレーション設定

タッチ操作したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。

アクセスポイント動作モード

クレードル接続時の本端末の接続モードを変更します。(→P102)

リセット

本端末の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
(→P100)

USB デザリングを設定する

USB デザリング機能を有効にします。
対応OSについて詳しくは、「USB 接続ケーブルを使用する」(→P46) を参照してください。

- 1 付属のUSB 接続ケーブル L03 で、本端末をパソコンに取り付ける (→P49)
- 2 ホーム画面で「」をタップ
設定メニューが表示されます。

3 「システム設定」→「USBテザリング」をタップ

「USBテザリング」をONにします。

- ・「USBテザリング」をタップするたびに、ON / OFFが切り替わります。



ON

USBテザリングを有効にします。

OFF

USBテザリングを無効にします。

お知らせ

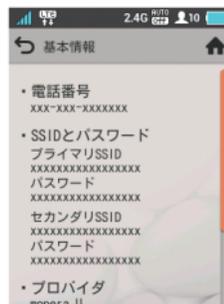
- ・ USBテザリングで接続したパソコンは、本端末への接続数（最大10台）には数えられません。

電話番号やSSIDキーを確認する

1 ホーム画面で「器」をタップ

設定メニューが表示されます。

2 「基本情報」をタップ



電話番号

ドコモ miniUIMカードの電話番号が表示されます。

SSIDとパスワード^{*1、*2}

SSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。

プロバイダ

接続先プロバイダが表示されます。

IMEI

端末識別番号が表示されます。

ソフトウェアバージョン

利用中のソフトウェアのバージョンが表示されます。

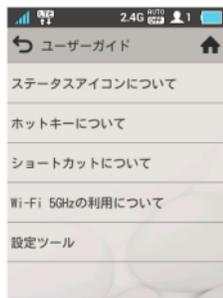
- ※1 セキュリティキーは、L-02F 設定ツールで「SSID / キー画面表示」が「表示する」(→P83) に設定されているときにのみ表示されます。
- ※2 セカンダリSSIDはL-02F 設定ツールで「セカンダリSSID」が「使用する」(→P86) に設定されているときにのみ表示されます。

ユーザーガイド

1 ホーム画面で「器」をタップ

設定メニューが表示されます。

2 「ユーザーガイド」をタップ



ステータスアイコンについて

ホーム画面上部に表示される各種アイコンを説明します。

ホットキーについて

ホーム画面に表示されるホットキーの動作を説明します。

ショートカットについて

ホーム画面下部に設定できるショートカットキーを説明します。

Wi-Fi 5GHzの利用について

Wi-Fi 5GHz帯の使用条件を説明します。

設定ツール

設定ツールの概要を説明します。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している本端末をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM / GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz / GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

■ 海外ではXiエリア外のため、3GネットワークおよびGSM / GPRSネットワークをご利用ください。

海外で利用できるサービス

サービス	説明
データ通信	パケット通信によるデータ通信が利用できます。

お知らせ

- ・ 国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳しくは取扱説明書裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

■ インターネット利用について

- 海外でインターネットなどをご利用になる場合の海外アクセスポイントや設定方法については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- mopera Uをご利用のお客様は、mopera Uのホームページをご覧ください。<http://www.mopera.net/>

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

- 本端末は、日本国内で使用している場合、接続するネットワークを手動で選択することができません。海外で接続するネットワークを選択するには、海外に到着後、ネットワークの設定を行ってください。（→P120）
- お買い上げ時、本端末は、海外の滞在先で接続可能なネットワークを自動的に検出して接続できるように設定されています。「ネットワーク検索の設定」（→P120）の画面で定額サービス適用対象事業者のネットワークへ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額（1日あたり）でご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービス、定額データプラン、またはXiデータ通信専用プランへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 手動で設定した事業者のサービスエリア外に移動した場合は「圏外」と表示されます。サービスを再利用するためには、「ネットワーク検索」で接続可能な他の事業者を検索して選択するか、設定している事業者のサービスエリアに移動する必要があります。

■ ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。



ローミング中



GSM使用可能／通信中



3G使用可能／通信中



LTE使用可能／通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワーク検索」を「自動」に設定してください。(→P111)

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

設定メニューでも同じ設定ができます。(→P111)

ネットワーク検索の設定

1 設定ページにログインする

詳しくは、「設定ページ (L-02F 設定ツール) にログインする」(→P73) を参照してください。

2 トップメニューの「ネットワーク設定」をクリックする

3 サブメニューの「ネットワーク検索」をクリックし、各項目を設定する



検索モード

接続先ネットワークを指定するかどうかを選択します。

- 自動：接続できるネットワークが自動的に選択されます。
- 手動：接続先ネットワークを指定する場合に選択します。「適用」をクリックすると接続できるネットワークが検索され、「オペレータ」に表示されます。

■ 手動設定時

オペレータ

接続するネットワークを選択します。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

ネットワークモードの設定

- 1 設定ページにログインする
詳しくは、「設定ページ（L-02F 設定ツール）にログインする」（→P73）を参照してください。
- 2 トップメニューの「ネットワーク設定」をクリックする
- 3 サブメニューの「ネットワークモード」をクリックし、項目を設定する



ネットワークモード

使用する地域に合わせて接続先ネットワークを選択します。

- 3G/GSM：3GネットワークとGSM / GPRSネットワークを自動で選択して利用します。
- 3G：3Gネットワークのみを利用します。
- GSM：GSM / GPRSネットワークのみを利用します。

4 「適用」をクリックして設定内容を保存する

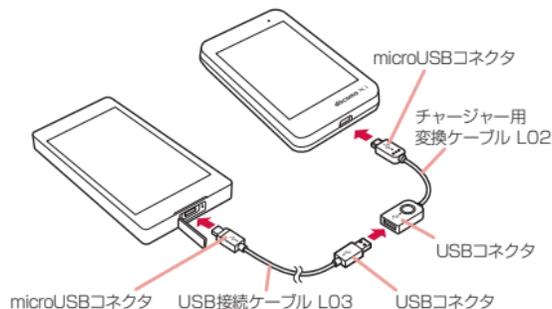
お知らせ

- 海外で利用する場合
 - 使用する通信事業者やネットワークにより、利用できないサービスがあります。

モバイル機器を充電する

モバイル機器を充電する

取り付けかた



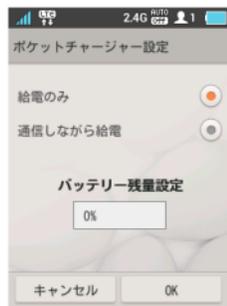
- 1 本端末の電源ボタンを2秒以上押す
本端末の電源が入ります。
- 2 付属のチャージャー用変換ケーブル L02の
microUSB コネクタをUSBマークのある
面を上にして本端末の外部接続端子へ水平
に差し込む

- 3 付属のUSB接続ケーブル L03のUSBコ
ネクタをUSBマークのある面を上にして
チャージャー用変換ケーブル L02のUSB
コネクタへ水平に差し込む
- 4 USB接続ケーブル L03のmicroUSBコ
ネクタの向きを確認してモバイル機器の
microUSB接続端子へ水平に差し込む

5 本端末のディスプレイで給電モードを選択して、「OK」をタップ

モバイル機器の充電を開始します。

🔌が表示され、LEDインジケーターが約5秒間赤色に点滅します。



給電のみ

ネットワークサービスを停止して、モバイル機器を充電します。

通信しながら給電

モバイル機器を充電しながらネットワークサービスも利用できます。

- 「通信しながら給電」は、本端末が十分に充電されていないと選択できません。

バッテリー残量設定

バッテリー残量が指定した残量を下回った場合、給電を終了します。

- 80%
- 60%
- 40%

- 20%
- 0%（「給電のみ」を選択した場合のみ選択可能）

お知らせ

- ご利用の環境によっては本端末の温度が高くなるため、給電を停止することがあります。
- 「通信しながら給電」を選択した場合は、通信可能な電池容量を確保するため、「バッテリー残量設定」で「0%」を選択できないようにしています。また、「通信しながら給電」は消費電力が大きく温度が高くなりやすいため、「給電のみ」での給電をおすすめします。
- 充電電流を超過して充電するようになると、本端末のバッテリー保護回路が動作して自動的に本端末の電源が切れます。そのような場合は、いったん本端末の電池パックを取り外し、再度取り付けてから電源を入れてご使用ください。
- コネクタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめて水平に行ってください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。

取り外しかた

- 1 USB 接続ケーブル L03 をモバイル機器とチャージャー用変換ケーブル L02 から水平に抜く
- 2 チャージャー用変換ケーブル L02 を本端末から水平に抜く

付録／困ったときには

L-02F 設定ツール メニュー項目 設定項目一覧

メニュー項目／ 設定項目	初期値	設定範囲
プロバイダ設定		
プロファイル選 択	mopera U	—
プロファイル名	mopera U	半角英数字と半 角スペース、記号 (! @ # \$ % ^ & * - . : ; / 0 < > \ [] += ` ? " \) を最大 15文字
接続先 (APN) 名	mopera.net	半角英数字と半 角スペース、記号 (! @ # \$ % ^ & * - . : ; / 0 < > \ [] += ` ? " \) を 最大99文字

メニュー項目／ 設定項目	初期値	設定範囲
ユーザー名	(なし)	半角英数字と半 角スペース、記号 (! @ # \$ % ^ & * - . : ; / 0 < > \ [] += ` ? " \) を 最大64文字
パスワード	(なし)	半角英数字と半 角スペース、記号 (! @ # \$ % ^ & * - . : ; / 0 < > \ [] += ` ? " \) を 最大32文字
認証方式	CHAP	CHAP、PAP、 None
公衆無線LAN		
公衆無線LAN	使用しない	使用する、使用 しない
SSID表示	全ての検索結果を 表示	全ての検索結果 を表示、登録済 みAPを表示

メニュー項目/ 設定項目	初期値	設定範囲
ネットワーク通知	使用しない	使用する、使用しない
無線LANアクセスポイント追加		
アクセスポイント名	(なし)	半角英数字と、記号(! @#\$%^&* _ . : ; /) < > \ [] += ` ' " \) を最大32文字
セキュリティ	Open	Open、WEP、WPA/WPA2-PSK、EAP-SIM、EAP-AKA
パスワード	(なし)	セキュリティの設定によって可変
ネットワーク設定		
ネットワーク検索		
検索モード	自動	自動、手動
ネットワークモード		
ネットワークモード	3G/GSM	3G/GSM、3G、GSM
データ通信量表示		
画面表示設定	使用データのみ	使用データのみ、使用データと上限値、表示しない

メニュー項目/ 設定項目	初期値	設定範囲
最大データ通信量設定	0	1 ~ 99
Wi-Fi設定		
基本設定		
周波数帯域	2.4GHz	2.4GHz、2.4/5GHz (クレードルのみ)
SSID/キー画面表示	表示する	表示する、表示しない
プライバシーセパレーター	使用しない	使用する、使用しない
2.4GHz設定		
国情報	日本	日本、韓国、カナダ、アメリカ合衆国
無線LANチャンネル	自動	自動、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13
無線LANモード	11b/g/n	11bのみ、11b/g、11gのみ、11nのみ、11b/g/n
無線LAN帯域幅	20/40MHz	20MHz、20/40MHz

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	MIMO	使用する	使用する、使用しない
5GHz設定			
	無線LAN チャンネル	自動	自動、36、40、44、48
	無線LAN モード	11a/n/ac	11aのみ、11nのみ、11acのみ、11a/n、11a/n/ac
	無線LAN 帯域幅	20/40/ 80MHz	20MHz、 20/40MHz、 20/40/80MHz
	MIMO	使用する	使用する、使用しない
SSID設定			
プライマリSSID			
	SSID名	L02F_ XXXXXXXX_A	半角英数字 と、記号 (~!@#\$%^&*()- _+= []\:"'<>..?) を 最大32文字

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	無線LAN セキュリティ ティ	WPA/WPA2- PSK mixed	Open、WEP、 WPA-PSK、 WPA2-PSK、 WPA/WPA2- PSK mixed
	暗号化方式	TKIP/AES	TKIP/AES、 AES、TKIP
	パスワード キー更新間 隔 (秒)	XXXXXXXXX 86400	- 0 ~ 86400
	接続可能端 末数	9	1、2、3、4、5、 6、7、8、9、10
	APアイソ レーション	使用しない	使用する、使用 しない
	SSIDステ ルス	使用しない	使用する、使用 しない
セカンダリSSID			
	セカンダリ SSID	使用しない	使用する、使用 しない
Wi-Fi Protected Setup (WPS)			
	WPS	使用する	使用する、使用 しない
	WPS方式	プッシュボタン	プッシュボタン、 PIN発行、PIN 入力

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	PIN	(なし)	(Wi-Fi対応機器側で発行したPINを入力)
MACアドレスフィルタ			
	フィルタリングモード	使用しない	使用しない、許可、拒否
	MACアドレス	(なし)	(MACアドレス)
DHCP			
	IPアドレス	192.168.225.1	設定可能なIPアドレス
	サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0～255.255.255.254
	DHCPサーバ	設定する	設定する、設定しない
	先頭IPアドレス	192.168.225.20	第1～第3オクテットまではDHCPサーバのIPアドレスと同じ値。第4オクテットは1～254までのDHCPサーバのIPアドレスを除いた値

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	末尾IPアドレス	192.168.225.40	先頭IPアドレスと同様。ただし、先頭IPアドレスより大きい値
	プライマリDNS	0.0.0.0	DNS可能なIPアドレス
	セカンダリDNS	0.0.0.0	DNS可能なIPアドレス
	MTU (Byte)	1500	578～1500
	固定IPアドレス追加	(なし)	(MACアドレス、先頭IPアドレス～末尾IPアドレスまでの値)
ルーター設定			
ファイアウォール			
	ファイアウォール	使用しない	使用する、使用しない
	インターネットIPアドレス	(なし)	0.0.0.1～255.255.255.254
	LAN IPアドレス	(なし)	0.0.0.1～255.255.255.254
	方向	Internet->LAN	Internet->LAN、LAN->Internet

メニュー項目/ 設定項目	初期値	設定範囲
プロトコル	全て	全て、TCP、UDP、ICMP、任意
ファイアウォール動作	透過	透過、無視
WAN pingブロック		
WAN pingブロック	使用しない	使用する、使用しない
IDENT		
IDENT	遮断	許容、遮断
DMZ		
DMZ	使用しない	使用する、使用しない
ポートマッピング		
ポートマッピング	設定しない	設定する、設定しない
From		
ポート番号	TCP	TCP、UDP
	(なし)	1 ~ 65535
To		
IPアドレス	(なし)	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
ポート番号	TCP	-
	(なし)	1 ~ 65535

メニュー項目/ 設定項目	初期値	設定範囲
Universal Plug and Play (UPnP)		
UPnP	使用する	使用する、使用しない
システム設定		
PIN1ロック		
PIN1コード(ロック)	(なし)	半角数字4桁~8桁
PIN1コード(ロック解除)	(なし)	半角数字4桁~8桁
PIN1コード変更		
旧PIN1コード	(なし)	半角数字4桁~8桁
新PIN1コード	(なし)	半角数字4桁~8桁
確認用PIN1コード	(なし)	半角数字4桁~8桁
ログインパスワード変更		
旧パスワード	(なし)	半角英数字と、記号(! @#\$%^&*-.:;。/: ()<> +=` ? '\) を4 ~ 32文字

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	新パスワード	(なし)	半角英数字と、記号（！@#\$%^&*_-.;:/: 0<> □+=`?'"\) を4～32文字
	新パスワード (確認)	(なし)	半角英数字と、記号（！@#\$%^&*_-.;:/: 0<> □+=`?'"\) を4～32文字
Wi-Fiパワーコントロール			
	自動オフタイマー (分)	10	使用しない、10、30、60
	DTIM 値 (100ms)	1	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10
	電波強度	100%	100%、75%、50%、35%、15%
クレードルのみ			
	自動オフタイマー無効 (クレードル接続中)	使用する	使用する、使用しない

メニュー項目/ 設定項目		初期値	設定範囲
	自動オン (クレードル取付時)	使用する	使用する、使用しない
アクセスポイント動作モード			
	アクセスポイント動作モード	ルーター	ルーター、ブリッジ
クレードル			
インターネット			
	IPアドレス設定	DHCP使用	自動、DHCP使用、PPPoE使用、手動
	IPアドレス	0.0.0.0	設定可能なIPアドレス
	サブネットマスク	(なし)	255.255.255.0～255.255.255.254
	デフォルトゲートウェイ	(なし)	0.0.0.1～255.255.255.254
	プライマリDNS	(なし)	設定可能なIPアドレス
	セカンダリDNS	(なし)	設定可能なIPアドレス

メニュー項目/ 設定項目	初期値	設定範囲
インター ネット MACアド レス	XX:XX:XX:XX:XX:XX	—
インター ネット MTU	1500	578 ~ 1500
PPPoE		
PPPoE 選択	(なし)	—
PPPoE 名	(なし)	半角英数字を最 大 15 文字
ユーザー名	(なし)	半角英数字と、記 号 (!@#\$%^&* -./:;<> []+=`?""\) を最 大 63 文字
パスワード	(なし)	半角英数字と、記 号 (!@#\$%^&* -./:;<> []+=`?""\) を最 大 63 文字
サービス名	(なし)	半角英数字を最 大 15 文字
認証方式	Auto	Auto、CHAP only、PAP only
MTU	(なし)	578 ~ 1492
MRU	(なし)	578 ~ 1492

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ・ リアカバー L37
- ・ 電池パック L22
- ・ クレードル L01
- ・ ACアダプタ L05
- ・ ACアダプタ L04
- ・ ACアダプタ L03
- ・ ACアダプタ L02
- ・ USB接続ケーブル L03
- ・ USB接続ケーブル L02
- ・ USB接続ケーブル L01
- ・ チャージャー用変換ケーブル L02
- ・ ポケットチャージャー 02
- ・ ポケットチャージャー 01
- ・ ACアダプタ 04
- ・ ACアダプタ 03
- ・ DCアダプタ 03

- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01

故障かな？と思ったら

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（→P143「ソフトウェア更新」）。
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源、充電、モバイル機器充電に関するトラブル

症 状	チェック項目
電源が入らない	電池パックが正しく取り付けられていますか。(→P33)
	電池切れになっていませんか。(→P41、P38、P49)
充電ができない LEDインジケータが点灯しない	次のことをご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> 電池パックが正しく取り付けられていますか。(→P33) アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(→P38) アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(→P38) ACアダプタ 04をご使用の場合、USBのコネクタが本端末としっかりと接続されていますか。(→P38) 付属のUSB接続ケーブル L03をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。(→P49) 付属のクレードル L01をご使用の場合、ACアダプタ L05の接続プラグがクレードル L01にしっかりと接続されていますか。(→P37)

症 状	チェック項目
モバイル機器を充電できない	指定のケーブルを使用していますか。(→P122)
	ケーブルは確実にモバイル機器に差し込まれていますか。(→P122)
	本端末は充電できていますか。(→P36)
モバイル機器の充電時間が短い	指定のケーブルを使用していますか。(→P122)
	モバイル機器の電池パックに残量がある状態で充電すると、充電時間が短くなります。
モバイル機器の充電時間が長い	指定のケーブルを使用していますか。(→P122)
	モバイル機器の電源をオンにしていますか。
モバイル機器の充電が途中で止まる	本端末のバッテリー残量が少ない状態で充電していませんか。まず本端末の充電を行ってください。(→P36)

症 状	チェック項目
本端末を完全に充電しても、モバイル機器を充分充電できない	指定のケーブルを使用していますか。 (→P122)
	電池パックは消耗品です。完全に充電しても使い切る時間が短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。 ※ 電池パックの交換時期は、使用状態などによっても異なります。
	モバイル機器によっては十分に充電できない可能性があります。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。

■ 端末操作に関するトラブル

症 状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	次のことをご確認ください。(→P36) <ul style="list-style-type: none"> 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症 状	チェック項目
ドコモ miniUIM カードが認識されない	ドコモ miniUIM カードを正しい向きで挿入していますか。(→P30)

■ 本端末が認識されない

症 状	チェック項目
USB 接続ケーブル L03 で接続したパソコンが本端末を認識しない	他の USB ポートに接続して認識できるか確認してください。
	本端末が、付属の USB 接続ケーブル L03 で正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
	USB 接続ケーブル L03 をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。

症 状	チェック項目
USB 接続ケーブル L03 で接続したパソコンが本端末を認識しない	<p>L-02F ドライバをアンインストールした後、再度接続してください。</p> <p>■ ドライバのアンインストール方法</p> <p>■ Windows 8.1 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デスクトップ画面で、 → 「コントロールパネル」 → 「プログラム」 → 「プログラムと機能」を順にクリックする <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 8 の場合は、デスクトップ画面で、画面の右端からスワイプ (マウスの場合は画面右上をポイント) → チャームで「検索」 → 「アプリ」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラム」 → 「プログラムと機能」を順にクリック ・ 「プログラムのアンインストールまたは変更」ウィンドウが表示されます。 2 「docomo L02F」を選択し、「アンインストール」をクリックする 3 「はい」をクリックする 4 「通信設定 (W-TCP) を解除する。(推奨)」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックする 5 「完了」をクリックする

症 状	チェック項目
USB 接続 ケーブル LO3で接続 したパソコンが本端末 を認識しない	<p>■ Windows 7 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「プログラム」 → 「プログラムと機能」を順にクリックする <ul style="list-style-type: none"> ・ 「プログラムのアンインストールまたは変更」ウィンドウが表示されます。 2 「docomo LO2F」を選択し、「アンインストール」をクリックする 3 「はい」をクリックする 4 「通信設定 (W-TCP) を解除する。(推奨)」が選択されていることを確認して「次へ」をクリックする 5 「完了」をクリックする <p>■ Mac OS X 10.9.1 の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「移動」 → 「アプリケーション」をクリックする 2 「L-02F UnInstaller」をクリックする 3 「アンインストール」をクリックする 4 お使いのMacの名前(ユーザー名)とパスワードを入力して、「OK」をクリックする 5 インストール完了の画面で「再起動」をクリックする

■ Wi-Fi機能のトラブル

症 状	チェック項目
Wi-Fi対応機器を接続できない	<p>本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がオンになっているかを確認してください。</p> <p>Wi-Fi対応機器に正しいセキュリティキーが設定されているかを確認してください。(→P58)</p> <p>本端末に設定したセキュリティキーを忘れた場合には、「無線LANのセキュリティモードを設定する」(→P84)を参照してセキュリティキーを設定し直し、再度接続の操作を行ってください。</p>

症 状	チェック項目
Wi-Fi対応機器を接続できない	<p>本端末がWPA/WPA2-PSK mixed以外のセキュリティモードに設定されている場合は、接続するWi-Fi対応機器にも同じ設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書などを参照してください。</p> <p>■ セキュリティモードがWEP (Windows 8.1の場合) の例</p> <p>デスクトップ画面で、 → 「コントロールパネル」 → 「ネットワークとインターネット」 → 「ネットワークと共有センター」 → 「アクティブなネットワークの表示」の「接続：」の本端末名称をクリック → 「ワイヤレスのプロパティ」 → 「セキュリティ」タブ → 下記のように設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • セキュリティの種類：認証なし（オープンシステム） • 暗号化の種類：WEP • ネットワークセキュリティキー：「キーインデックス」で選択されている番号で本端末に設定されているWEPキー

症 状	チェック項目
Wi-Fi対応機器を接続できない	<p>■ セキュリティモードがWEP (Mac OS X 10.9.1の場合) の例</p> <p>「アップル」メニュー → 「システム環境設定」 → 「ネットワーク」 → 画面左側の「Wi-Fi」を選択 → 「ネットワーク環境」で「ネットワーク環境を編集」 → 「+」 → 「名称未設定」に任意の名称を入力 → 「完了」 → 「メニューバーにWi-Fiの状況を表示」にチェック → 「詳細」 → 画面上部のタブで「Wi-Fi」を選択 → 「+」 → ネットワーク名を入力 → 「セキュリティ」で「WEP」を選択 → 「パスワード」に本端末に設定されているWEPキーを入力 → 「OK」 → 「OK」 → 状況が「切」になっている場合は、「Wi-Fiを入にする」をチェックし「適用」</p> <p>WPS機能で接続できない場合は、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書などを参照し、本端末のWPS機能の設定（→P87「WPS機能を設定する」）を確認してから、再度接続の操作を行ってください。</p> <p>WPS用のPINコードが指定されたWi-Fi対応機器を接続する場合には、本端末のWPS機能の設定（→P87「WPS機能を設定する」）で「WPS PIN」が選択されているか、正しいPINコードが設定されているかを確認してください。</p>

■ 通信時のトラブル

症 状	チェック項目
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。
	電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモ miniUIM カードを入れ直してください。
	電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は  を表示している」状態でも通信ができない場合があります。場所を移動して再度確認してください。
	ドコモ miniUIM カードに暗証番号が設定されている場合は、本端末の電源を入れたとき、または設定ページにログインしたときに、PIN1 コードを入力してください。(→P39、P75)
	本端末設定と接続先 (APN) 登録を確認してください。
	電波状態によって、インターネットに接続できない場合があります。その場合には、本端末の電源をいったん切り、再度電源を入れてください。
	本端末を使用してインターネット接続しているときには、他の通信機器は切断されていることをご確認ください。

症 状	チェック項目
急にインターネットの速度が遅くなる	LTE/W-CDMA/HSDPA/HSUPA/GSM/GPRS のサービス環境が不安定な地域では速度が遅くなる場合があります。他の場所に移動して再度接続してください。
	Windows パソコンで通信を行う場合、パソコンの通信設定を最適化する必要があります。付属の USB 接続ケーブル L03 で本端末とパソコンを接続してドライバをインストールしてください。その際、「通信設定 (W-TCP) を最適化する。(推奨)」が選択されていることを確認してください。

■ 海外利用に関するトラブル

症 状	チェック項目
海外で通信できない (アンテナマークが表示されている場合)	WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。
海外で通信できない (圏外が表示されている場合)	国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してください。 ・「ネットワーク検索」を「手動」に設定してください。(→P120) ・「プロバイダ」の設定を確認してください。(→P77) 本端末の電源を切った後、再度電源を入れることで回復することがあります。

症 状	チェック項目
海外で利用中に、突然通信できなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

■ その他のトラブル

症 状	チェック項目
急に動作しなくなった	本端末にドコモ miniUIMカードを正しく挿入していますか。(→P30)
リアカバーが外れた	リアカバーを本体に合わせるように装着し、矢印部分を1つずつしっかりと押して閉じてください。(→P34)

こんな表示が出たら

設定ページ (L-02F 設定ツール) に表示されるメッセージ

エラーメッセージ	説明
パスワードが間違っています。	ログイン時に、入力したパスワードが間違っています。「OK」をクリックし、正しいパスワードを入力してください。
PIN1 コードが違います。再入力してください。	入力したPIN1 コードが間違っています。「OK」をクリックし、正しいPIN1 コードを入力してください。
PIN1 コードの入力を3回失敗しました。PINロック解除コードを入力してください。	PIN1 コードの入力に3回失敗したため、PIN1 コードがロックされました。「OK」をクリックし、「PINロック解除コード」にPINロック解除コード、「新PIN1 コード」、「新PIN1 コード(確認)」の各項目に新しく設定するPIN1 コードを入力し、「適用」をクリックしてください。

エラーメッセージ	説明
PINロック解除コードが違います。再入力してください。	入力したPINロック解除コードが間違っています。「OK」をクリックし、正しいPINロック解除コードを入力してください。
PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、L-02Fがロックされました。ドコモショップ窓口までお問合せください。	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、ドコモminiUIMカードがロックされました。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

本端末のディスプレイに表示されるメッセージ

エラーメッセージ	説明
セカンダリSSIDがONになっています。公衆無線LANを使用するには、セカンダリSSIDをOFFに設定してください。	公衆無線LANを使用するときは、L-02F 設定ツールで「セカンダリSSID」を「使用しない」に設定してください。(→P86)
バッテリー残量が少ないため、給電できません。	先に本端末を充電してください。(→P36)
PIN完全ロック PINロック解除コードの入力を10回間違えたため、L-02Fがロックされました。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	PINロック解除コードの入力に10回失敗したため、ドコモminiUIMカードがロックされました。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
Wi-FiがOFFになっているため利用できません。Wi-FiをONにしてください。	Wi-Fi機能がオフになっていると、公衆無線LANを使用できません。まずWi-Fi機能をオンにしてください。(→P41)

エラーメッセージ	説明
WPS機能は以下の場合に使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティが「WEP」、「WPA-PSK」の場合 暗号化方式が「TKIP」の場合 SSIDステルスが有効な場合 	「無線LANセキュリティ」が「WEP」に設定された場合にはWPS機能を使用できません。設定ページで「無線LANセキュリティ」を変更してください。(→P85)
	「SSIDステルス」が「使用する」に設定された場合にはWPS機能を使用できません。設定ページで「SSIDステルス」を変更してください。(→P86)
	「無線LANセキュリティ」が「WEP」で、「SSIDステルス」が「使用する」に設定された場合には、WPS機能は使用できません。(→P86)
接続中のWi-Fi機器数がプライマリSSIDに接続可能な台数に達したため、WPS機能を使用できません。プライマリSSIDの接続最大値を確認してください。	プライマリSSIDに接続可能な台数に達していると、WPS機能は使用できません。L-02F 設定ツールでプライマリSSIDの接続最大値を確認してください。(→P86)

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

- 修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間で基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承くださいの上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、無線LAN用のMACアドレス、セキュリティキー、SSIDなどが変更される場合があります。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

本端末のソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

ソフトウェア更新のチェック方法には、以下の2種類があります。

- 更新がある場合は、「新しいバージョンのソフトウェアが利用可能です。更新しますか?」というメッセージが本端末のディスプレイに表示されます。
- ソフトウェアの更新があるか、手動でチェックを行います。「ソフトウェアの更新を確認する」(→P144)

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 通信中
 - ドコモminiUIMカードが未挿入のとき
 - 「圏外」が表示されているとき
 - 国際ローミング中
 - 電源が入っていないとき
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
- ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、通信機能および、その他機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「バージョンは最新です。」と表示されます。

- ソフトウェアの更新の際、お客様が登録した料金プランによっては、データ料金が発生することがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のL-02F固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアの更新の際にお客様のご利用の料金プランによっては、データ通信料が発生する場合があります。

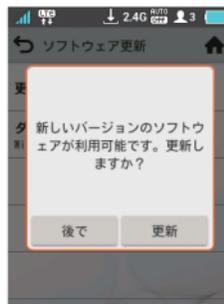
ソフトウェアの更新を確認する

1 ホーム画面で「器」をタップ

2 「ソフトウェア更新」をタップ

3 「更新を確認する」をタップ

ソフトウェア更新確認画面が表示されます。



後で

ソフトウェア更新画面に戻ります。ディスプレイに新しいソフトウェアがあることを示すアイコン「↓」が表示されます。

更新

ソフトウェアの更新が始まります。画面に従って操作してください。

ダウンロード方法を設定する

- 1 ホーム画面で「器」をタップ
- 2 「ソフトウェア更新」をタップ
- 3 「ダウンロード設定」をタップ
ダウンロード設定画面が表示されます。

すべてのネットワーク

データ通信を含むすべてのネットワーク接続の場合にダウンロードします。

Wi-Fi/有線LAN

Wi-Fiまたは有線LAN接続の場合にのみダウンロードします。

ソフトウェアを更新する

端末のディスプレイに更新を知らせるメッセージが表示されたら、以下の操作でソフトウェアを更新してください。

お知らせ

- ソフトウェア更新を行うと、設定データが初期値に変更されます。設定データを維持したい場合には設定ページで「バックアップと復元」を行ってください。(→P99)

- 1 本端末のディスプレイに更新を知らせるメッセージが表示されたら、「更新」をタップ

- 2 「OK」をタップ
ソフトウェアのダウンロードが開始され、ソフトウェア更新が行われます。インストール中は1～2回端末が再起動します。



- 3 ソフトウェア更新が完了したら、「OK」をタップ

本端末をリセットする

本端末をリセットしてお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。ただし、ディスプレイに表示されるデータ通信量はリセットされません。データ通信量をリセットする方法は、「データ通信量を表示する」(→P81)を参照してください。

- 1 ホーム画面で「**⋮**」をタップ
- 2 「システム設定」をタップ
- 3 「リセット」をタップ
確認画面が表示されます。
- 4 「はい」をタップ
本端末がリセットされます。

主な仕様

■ 本体

品名	L-02F	
サイズ (H×W×D)	約97mm×約62mm×約19.5mm (最厚部 約19.5mm)	
質量	約156g (電池パック装着時)	
連続通信時間	LTE	約13時間
	3G (HSDPA/HSUPA、W-CDMA)	約16時間
	GSM	約12時間
連続待受時間	LTE	約450時間
	3G (HSDPA/HSUPA、W-CDMA)	約550時間
	GSM	約700時間
充電時間	ACアダプタ 03：約300分 ACアダプタ 04：約210分 ACアダプタ L05：約210分(クレードル L01 使用時) DCアダプタ 03：約360分 USB接続ケーブル L03：約360分	

画面部分	方式	TFT
	サイズ	約3.0inch
	ドット数	横240ドット×縦320ドット QVGA
通信方式	WAN	LTE/HSDPA/HSUPA/W-CDMA
	無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac (IEEE802.11n対応周波数帯: 2.4GHz/5GHz ^{*8} 、IEEE802.11 ac対応周波数帯:5GHz ^{*8})
無線LAN 対応規格	IEEE 802.11a	5GHz(W52) ^{*8} 、最大伝送速度 (規格値) 54Mbps
	IEEE 802.11b	2.4GHz、最大伝送速度(規格値) 11Mbps
	IEEE 802.11g	2.4GHz、最大伝送速度(規格値) 54Mbps
	IEEE 802.11n	2.4GHz/5GHz(W52) ^{*8} 、最大 伝送速度(規格値) 300Mbps
	IEEE 802.11ac	5GHz(W52) ^{*8} 、最大伝送速度 (規格値) 867Mbps
通信速度 ^{*1} ^{*5} ^{*6}	パケット通信: 受信時最大150Mbps ^{*7} 送信時最大50Mbps ^{*7}	

対応周波数	LTE	2GHz、1.7GHz、1.5GHz、 800MHz
	3G	2GHz、800MHz、新800MHz
	GSM/ GPRS	850MHz、900MHz、 1800MHz、1900MHz
給電機能	電圧	DC 5V
	電流	定格1.5A / 最大1.8A

- ※1 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- ※2 Xiエリア外のFOMAハイスピードエリアにおいては、受信時最大14Mbps / 送信時最大5.7Mbpsの通信となります。
- ※3 FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- ※4 Xiエリア外およびFOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- ※5 Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度(帯域幅「20/15/10/5MHz」):150/110/75/37.5Mbps、送信速度(帯域幅「20/15/10/5MHz」):50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。
- ※6 Xi対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- ※7 Xiエリアの一部に限ります。
- ※8 クレードル接続時のみ利用できます。

- 連続通信時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通信に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- データ通信を行うと通信・待受時間は短くなります。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

品名	電池パック L22
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	3,600mAh

■ クレードル

品名	クレードル L01	
サイズ (H×W×D)	約41mm×約86mm ×約91mm	
質量	約100g	
給電機能	電圧	DC 5.0V
	電流	1.3A

LANポート	物理インターフェイス	8ピンモジュラージャック (RJ-45)
	インターフェイス	10BASE-T/100BASE-T/1000BASE-T
	伝送速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps
	全二重/半二重	全二重/半二重
POWER端子	物理インターフェイス	DC JACK 
	電圧	DC 5.2V
	電流	1.8A
WAN/LAN切り替えスイッチ	スイッチ	WAN/LANモード切り替えスイッチ

■ JATE認証番号

D13-0330001

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

Declaration of Conformity

The product "L-02F" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

This wireless router complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your wireless router is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.422 W/kg at the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body. While there may be differences between the SAR* levels of various wireless routers and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for wireless routers employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

- ** The SAR limit for wireless routers used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the wireless router transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the wireless router while operating can be well below the maximum value. This is because the wireless router is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE 0168

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi(WLAN)

This device is intended for sale in Japan only.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. Power off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Terminal should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the wireless router in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a wireless router and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the wireless router on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your wireless router may interfere with the operation of your medical device.

FCC Regulations

Part 15.105 statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Part 15.19 statement

This device comply with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device

while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power outputs.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 1.12W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID ZNFLO2F. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at <http://www.ctia.org/>.

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などを行うことはできません。

商標について

- ・「FOMA」「mopera U」「WORLD WING」「Xi」「Xi / クロッシィ」および「Xi」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- ・Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 (Core edition、Pro、Enterprise) の略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。

- ・Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ・Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Certified®、WPA™、WPA2™とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- ・PSP、PS Vitaは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- ・ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi、およびニンテンドー 3DSは、任天堂の商標または登録商標です。
- ・NINTENDO DSは、任天堂の登録商標です。
- ・iPod Touch、iPadは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- ・AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ア

アクセスポイント動作モード	102
暗証番号	32
PIN1 コード	32
PINロック解除コード	32
オプション・関連機器のご紹介	130
主な仕様	146

カ

海外利用	
海外通信事業者の検索	120
海外で利用する前の確認	118
海外で利用できる通信サービス	117
国際ローミング (WORLD WING)	117
外部接続端子	28
各部の名称と機能	28
クレードル	1
公衆無線LAN	79
故障かな?と思ったら	131
こんな表示が出たら	139

サ

材質一覧	19
充電	36
ACアダプタを使って充電する	38
クレードルを使って充電する	37
充電時間	146
使用時間	36
パソコンを使って充電する	38
モバイル機器を充電する	122
商標	154
初期化	100
接続クライアントを確認	89
設定データのバックアップ/復元	99
設定ページ (L-02F 設定ツール)	73
対応ブラウザ	73
設定メニュー	108
セットアップ	45
対応機器を確認する	45
ソフトウェア更新	
クレードルのソフトウェアを更新する	106
本端末のソフトウェアを更新する	143

タ

知的財産権	154
ディスプレイ	28, 40
電源ボタン	28
電源を入れる／切る	39
電池パック	33
取り付けかた	33
取り外しかた	35
ドコモminiUIMカード	30
暗証番号変更	97
取り付けかた	30
取り外しかた	31

ナ

ネットワーク設定	81
接続先の設定を登録する	77

ハ

バージョン情報	100
ファイアウォール	91
保証とアフターサービス	141
本体付属品	1
本端末から利用できる通信	
Xiデータ通信／FOMAデータ通信	8
公衆無線LAN	8
無線LAN	7

マ

無線LAN基本設定	82
無線LAN自動オフタイマー	101
無線LANセキュリティモード	84

ヤ

輸出管理規制	149
--------	-----

ラ

リアカバー	29
リセット	
クレードルをリセットする	107
本端末をリセットする	146
ログインパスワード変更	98

英数字

CE	150
DHCP	90
European Union Directives Conformance Statement	150
FCC Regulations	152
FOMA/Xiアンテナ	29
Important Safety Information	151
MACアドレスフィルタリング	88
Ping	93
PPPoE	104
UPnP	95
USB接続ケーブル L03	49
取り付けかた	50
取り外しかた	50
Wi-Fiアンテナ	29

Wi-Fi対応機器を接続する	58
Androidを接続する	66
iPadを接続する	66
Macを接続する	64
PSPを接続する	67
Windowsパソコンを接続する	60
WPS対応のWi-Fi対応機器を接続する	68
ニンテンドーDSを接続する	67
WPS	87

MEMO

MEMO

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ▶ 各種お申込・お手続き

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID / パスワード」が必要となります。

※ 「docomo ID / パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の本端末のご使用は、安全走行の妨げとなり危険です。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話の4G/LTE/3G/2G/1G回収

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ
(自社・他社製品を問わず回収)

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

151 (局番なしの) (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

113 (局番なしの) (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion00



大豆由来インクを使用しています。

Printed in Korea[®]

販売元
製造元

株式会社NTTドコモ
LG Electronics Inc.

'14.1 (1版)

MFL68085001(1.0)



MFL68085001